

東京建築祭

TOKYO ARCHITECTURE FESTIVAL

2026

東京建築祭 2026
開催レポート

TOKYO ARCHITECTURE FESTIVAL 2026
EVENT REPORT



Message

Concept

2026 OverView

01	開催概要	8
02	プログラム	12
03	参加者	40
04	参加建築	48
05	ボランティアスタッフ	54
06	広報	60
07	クラウドファンディング	70
08	協賛パートナー	74
09	収支	76







3年目の東京建築祭は、盛況のうちに幕を閉じ、のべ約16万5000人の参加者を迎えました。

はじめて建築に出会う笑顔。新たな知識に触れる真剣なまなざし。そして、至るところで生まれた会話。そうした場面が、9日間の会期の隅々にまで満ちていました。ともに実現してくださった方々に、心より感謝申し上げます。

今年は大使館、大学などの教育機関の参加に加え、建設現場の見学、個人住宅の公開、建築家によるディスカッションなど、東京建築祭の可能性をさらに拡張する取り組みが数多く実現し、協賛の輪が広がりました。

まちは、誰かによってつくられ、保たれ、受け継がれています。一つひとつの建築には、まだ知られていない物語があります。それを知ること、見慣れた風景が新しく見えてくる。その喜びを、多くの参加者と分かち合えたことが、今年の東京建築祭の大きな成果でした。

東京建築祭は、これからも首都・東京から、建築に触れる楽しみを、すべての人に伝えていきたいと思います。その積み重ねが、よい建築を守り、都市をより豊かな創造の場へと育てていくことを願っています。

ご参加、ご支援、ご協力いただいたすべての方に、深く御礼申し上げます。

建築から、ひとを感じる、まちを知る

建築は、まちに息づく人、社会、文化とともに生きています。東京建築祭では、近代から現代まで、東京の多彩な建築が扉を開きます。つくるひと、使うひと、守り継ぐひとなど、さまざまな思いに触れ、建築が身近になる。「東京建築祭」は、そんな機会をつくれます。

ひとの思いに触れる

いつの時代にも建築は、まちがめざす豊かさを象徴する役割を担います。それぞれの時代の革新の記憶を受け継ぎ、新たな挑戦が層を成していく。そこには、つくるひと、使うひと、守り継ぐひとなど、さまざまな人の思いが込められています。東京の多彩な建築を体験し、そこに携わる人たちと出会い、思いに触れることで、建築との関係性がより親密なものになればと願っています。

まちの魅力を再発見する

建築を意識すると、いつも通り過ぎている風景が新鮮になります。暮らしに深みが増し、旅する目的が加わります。建築を楽しむことは、新たな視点でまちの魅力を再発見することにつながるのです。建築を通して、東京と、もっと親しく。東京を、もっと楽しく。建築との関係が変わることが、まちを再解釈し、未来を考える契機になります。



東京建築祭2026

建築文化の、新たなひろがり

3回目を迎えた東京建築祭は、エリアやプログラムの拡大とともに、参加する建築や体験のあり方もより多様になりました。建築を起点にさまざまな文化や社会との新たな接点を生み出し、東京ならではの建築文化を拡張する祭りへと成長しています。

**「見る」から広がる、
建築体験の拡張**

特別公開やガイドツアーに加え、工事中の建築見学、クルーズ、講演、映画、ワークショップなど、多様なプログラムを展開しました。建築を見て感じたことを言葉にして伝え合う対話型鑑賞や、建築の見方・伝え方を考えるワークショップ、AIを使った鑑賞体験の共有など、建築を知り、考え、語り、共有する楽しみ方が広がりました。

**建築を通して、
世界の文化と出会う**

5カ国の大使館の参加に加え、シンガポールの建築をめぐる映画や、ガウディの建築を読み解く講演などを実施。建築を入口に世界の多様な歴史や文化、価値観に触れ、国際都市・東京で、世界への理解を深めるきっかけとなりました。

**学びを社会にひらき、
次世代につなぐ**

大学6校、中学・高校1校、小学校2校が参加。建築学科の学生による研究発表講評会の公開や、学生が建築の解説を担うなど、教育・研究の場と社会をつなぐ機会が広がりました。ボランティア応募者の23.4%を学生が占めるなど、若い世代からも関心が寄せられ、子ども向けのプログラムも実施。次世代が建築に触れ、学び、伝える機会を生み出しました。

**建築文化の
担い手の輪が広がる**

回を重ねるなかで、ボランティアスタッフの連携が深まり、建築祭を支える組織としての力も育ちつつあります。参加建築が主体となって公開・運営する取り組みも増え、建築をひらき、伝え、支える文化そのものが育ち始めています。参加建築同士の交流も生まれ、「皆でつくる建築祭」の輪が広がっています。

01

開催概要

- 01 運営組織
- 02 2026開催実績アウトライン
- 03 実績推移



主催 | 東京建築祭実行委員会

実行委員長 | 倉方俊輔（大阪公立大学教授）

実行委員 | 伊藤香織（東京理科大学教授）

田所辰之助（日本大学教授）

野村和宣（神奈川大学教授）

松岡孝治（公益財団法人東京観光財団）

宮沢洋（株式会社ブンガネット代表）

志岐祐一（株式会社日東設計事務所）

以倉敬之（合同会社まいまい代表）

監事 | 田中慎（税理士法人田中経営会計事務所）

事務局 | 合同会社まいまい

大久保佳代

西川律子

大島南那

小松春奈

助成 | アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

協力 | 文化庁 / 一般社団法人中央区観光協会 / 一般社団法人千代田区観光協会 / 一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 / 一般社団法人日本橋兜らいぶ推進協議会 / 一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント / 一般社団法人東銀座エリアマネジメント / 一般社団法人京橋彩区エリアマネジメント / 一般社団法人港区観光協会 / 銀座街づくり会議 / 公益財団法人東京都公園協会 / 一般社団法人東京建築アクセスポイント / 東京ヘリテージマネージャーの会 / 照明探偵団 / 株式会社フラットフィールドテクノロジーズ

協賛 | 株式会社ジンスホールディングス / 株式会社山下PMC / 株式会社竹中工務店 / 大成建設株式会社 / 鹿島建設株式会社 / 株式会社大林組 / 清水建設株式会社 / 戸田建設株式会社 / 大和ハウス工業株式会社 / 株式会社三菱地所設計 / 株式会社JR東日本建築設計 / Tokyo Localized / YKK AP株式会社 / 株式会社梓設計 / 学校法人二本松学院 / 平和不動産株式会社 / 安田不動産株式会社 / 株式会社東畑建築事務所 / NTTアーバンソリューションズ株式会社 / 明治安田生命保険相互会社 / 株式会社サンケイビル / 株式会社山下設計 / 株式会社日建設 / 株式会社安井建築設計事務所 / 株式会社佐藤総合計画 / 隈研吾建築都市設計事務所 / DE-SIGNグループ / 株式会社日本設計 / 株式会社久米設計 / 株式会社横森製作所 / 株式会社松田平田設計 / 株式会社石本建築事務所 / 株式会社横河建築設計事務所 / 株式会社NTTファシリティーズ / ダイビル株式会社 / リノベる株式会社 / ネットワンシステムズ株式会社 / 株式会社サンライズプロモーション

公式プログラム
参加者数のべ

16.5 万人

公式
プログラム数

204 企画

公式サイト
PV数

639 万PV

参加建築数

150 建築

ガイドツアー・イベント
平均抽選倍率

6.3 倍

メディア掲載数

118 件

全体概要

会 期 | 2026年5月16日(土)ー24日(日)

エリア | 上野・湯島・本郷 / 神田・九段 / 日本
橋・京橋 / 大手町・丸の内・有楽町 /
銀座・築地 / 新橋・竹芝・芝浦 / 品川・
三田・白金 / 六本木・赤坂・青山 /
渋谷 / その他

参加建築数 | 150件

公式プログラム参加者数 | のべ 164,779人

連携プログラム参加者数 | のべ14,504人

ツアーガイド | のべ 226 人

建築ナビゲーター | のべ 90人

ボランティアスタッフ数 | のべ 1,297人

クラウドファンディング | 396人 8,240,700円

助成 | アーツカウンシル東京 15,950,000円

企業協賛 | 38社 2,200,000円

プログラム

公式プログラム

特別公開・特別展示

プログラム数 | 70企画

来場者数 | のべ 158,155 人

ガイドツアー・イベント

プログラム数 | 134企画 / 280回

参加者数 | のべ 5,343人

申込者数 | のべ 30,745人 平均抽選倍率 6.3倍

見学サポート (主催・連携含む)

プログラム数 | 14企画

利用者数 | 14,213人

連携企画

プログラム数 | 15企画

利用者数 | 14,504人

広報・PR

メディア掲載件数 | 118件

公式ウェブサイトPV数 | 6,395,945 PV

公式ウェブサイトユーザー数 | 437,368人

公式 Xインプレッション数 | 448万回

公式 Xフォロワー数 | 14,781人

公式 Instagramインプレッション数 | 370万回

公式 Instagramフォロワー数 | 23,547人

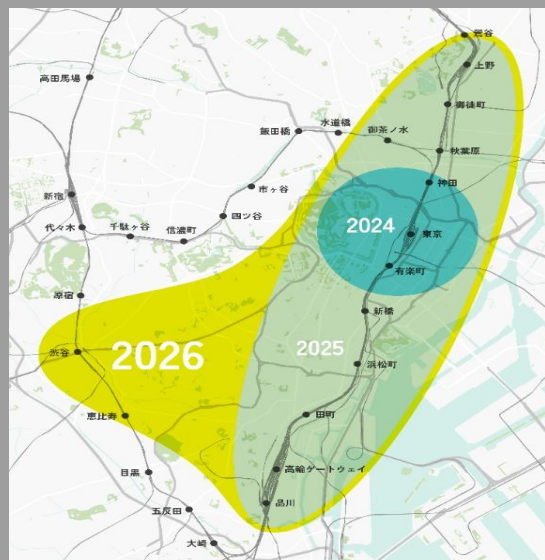
メールマガジン登録者数 | 4,000人

パンフレット印刷数 | 81,410部

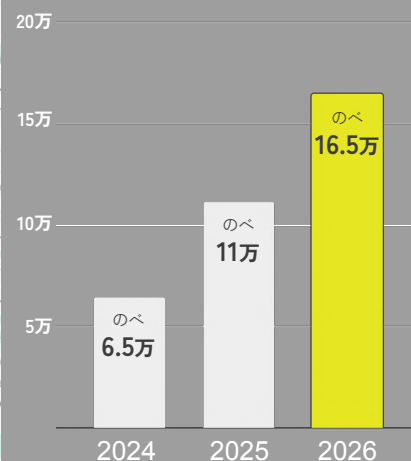
ポスター印刷数 | 228部

※2025/08/01-2026/07/31

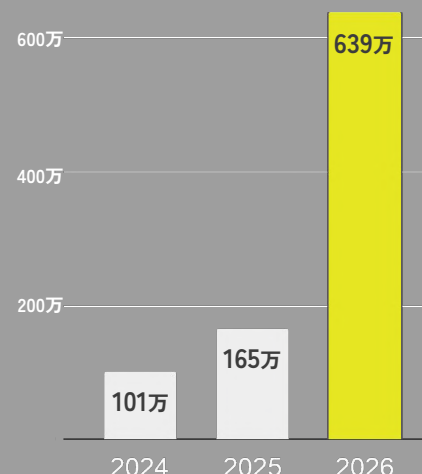
開催エリア



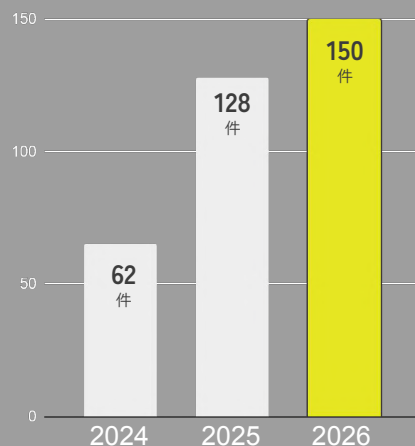
公式プログラム参加者数



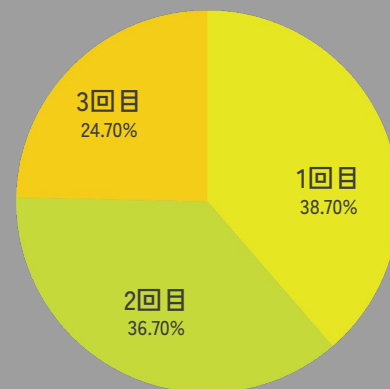
公式サイトPV数



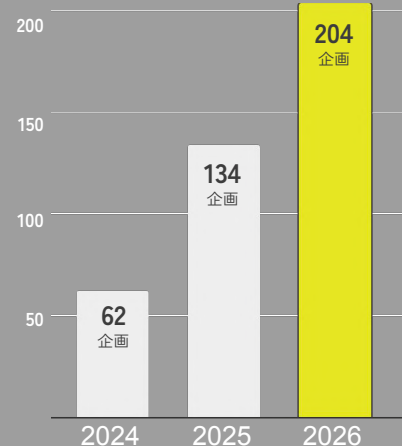
参加建築数



参加建築の継続参加状況



公式プログラム数



東京建築祭 3年間の広がり

規模の拡大とともに、建築の楽しみ方や体験のあり方も深化。体験の幅を広げてきた3年間。

2024 | 東京の建築をひらく

- ・東京都心から、東京建築祭をスタート
- ・特別公開・特別展示、ガイドツアーを中心に、多彩な建築を体験する機会を創出
- ・オーディオガイド、ライブ配信、書店フェアなど、建築巡りを支える取り組みを展開

2025 | エリアを広げ、見学環境を充実

- ・開催エリアを上野から品川まで拡大。博物館、美術館、大学、小学校など、多様な施設が参加
- ・講演、対話型鑑賞、交流会、クルーズ、など、建築の楽しみ方が多様化
- ・順番待ちシステム、建築写真カード、建築コンシェルジュなどを導入し、見学環境を充実

2026 | 建築の楽しみ方を、さらに広げる

- ・渋谷まで開催エリアを拡大。大使館や教育機関の参加も広がる
- ・映画、工事中の建築見学、アカペラライブなど、プログラムがさらに多様化
- ・AIや投稿型デジタルマップ、ジャーナル体験、対話型鑑賞など、体験を表現・共有する楽しみ方が広がる
- ・モビリティや投稿型デジタルマップとの連携など、建築を起点にまちを楽しむ取り組みも登場

02

プログラム

- 01 プログラム概要
- 02 開催エリア
- 03 特別公開・特別展示
- 04 ガイドツアー
- 05 イベント
- 06 見学サポート
- 07 関係者向けプログラム



02-01 | プログラム概要

渋谷までエリアを広げ、プログラム数も1.5倍に拡大した2026年。大使館の参加や多彩なプログラムに加え、さまざまな組織との連携企画も増え、建築を楽しむ体験そのものが広がりました。建築を見る、知るだけでなく、体験を共有し、まちを巡り、まちそのものを楽しむなど、建築を起点とした多様な体験が生まれています。



特別公開・特別展示

特別公開

通常は非公開の建築や場所などを、無料で特別に公開。

建築数 | 50件

参加費 | 無料・申込不要

※順番待ち申込み：15件

特別展示

参加建築の通常公開エリアに、東京建築祭の期間に合わせた特別な展示を実施。

建築数 | 20件

参加費 | 無料・申込不要



ガイドツアー

建築の所有者や建築家、技術者、研究者などがガイドを務め、解説やエピソードに触れながら見学。2026はカナダ大使館による初の外国語ツアーも実施。

プログラム数 | 120企画 / 262回

申込者数 | のべ30,745人

平均抽選倍率 6.3 倍

参加費 | 有料・要申込（抽選制）



イベント

講演やワークショップ、交流会などに加え、映画鑑賞、アカペラライブ、AIを使った鑑賞体験など、これまでにない建築の楽しみ方を提案。

公式イベント ※関係者イベント除く

プログラム数 | 14企画・18回

参加費 | 企画による

連携企画イベント

プログラム数 | 15企画

参加費 | 企画による



見学サポート

解説などの建築体験のサポートに加え、体験を共有し、まちを巡って楽しむ新たな取り組みも展開。

公式見学サポート

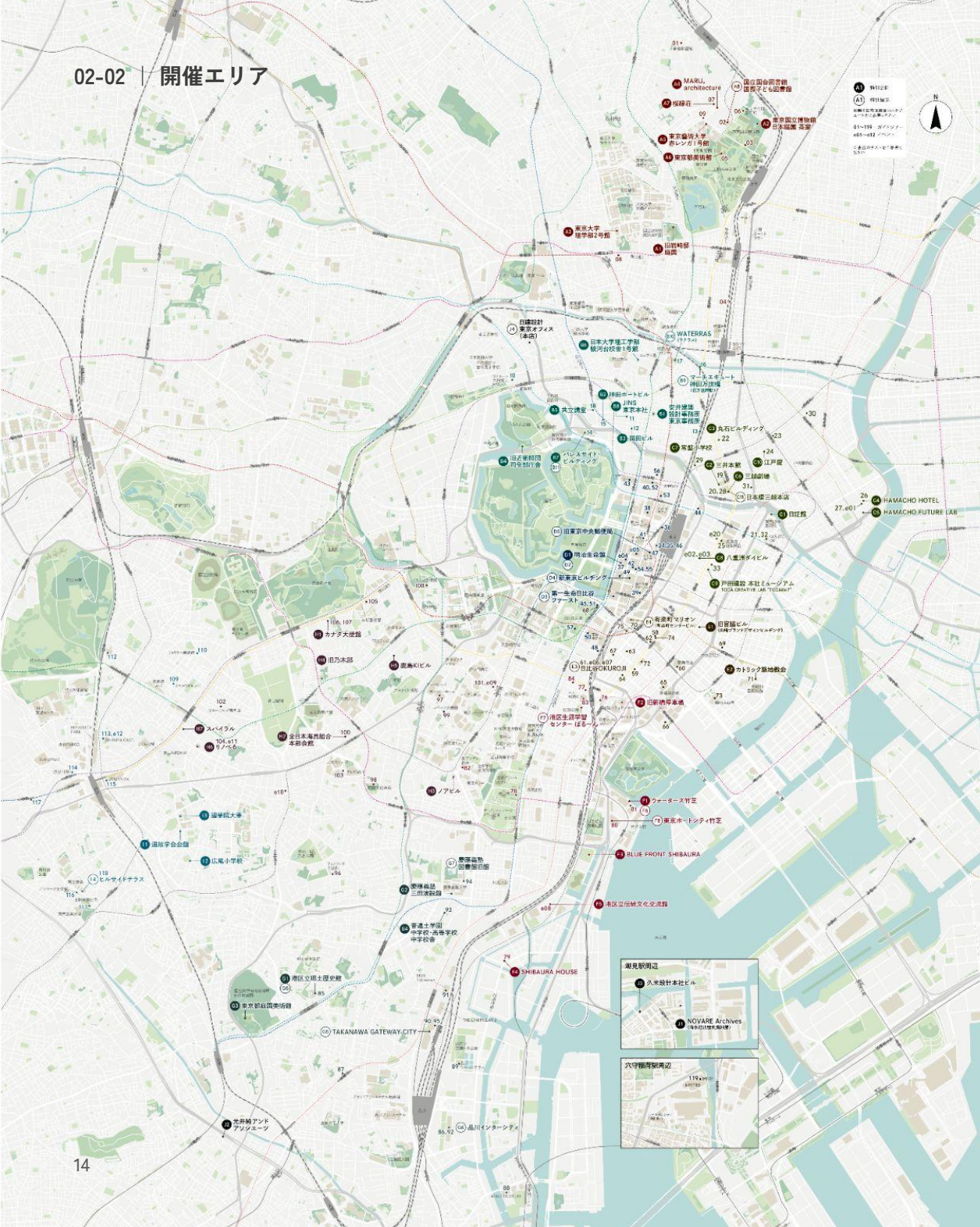
プログラム数 | 4企画

利用者数 | 10,345人

連携企画見学サポート

プログラム数 | 10企画

02-02 | 開催エリア



開催エリア |

上野・湯島・本郷 / 神田・九段 / 日本橋・京橋 /
 大手町・丸の内・有楽町 / 銀座・築地 / 新橋・竹芝・
 芝浦 / 品川・三田・白金 / 六本木・赤坂・青山 / 渋谷 /
 その他

2026年は、開催エリアを上野から品川、さらに渋谷まで拡大。歴史的建築から現代建築、学校、オフィス、大使館など、多彩な建築が参加し、多様なプログラムを展開。東京のまちを巡りながら、それぞれの地域や建築の魅力に出会う機会が広がった。



特別公開



旧岩崎邸庭園
公開場所 | 撞球室
来場者数 | 2,969人



**東京国立博物館
日本庭園 茶室**
公開場所 | 春草廬・転合
庵・六窓庵・九条館
場者数 | 7,153人



**東京大学
理学部2号館**
公開場所 | 正面玄関、講
堂、階段
来場者数 | 1,464人



MARU.architecture
公開場所 | 1階・2階オ
フィススペース
来場者数 | 390人



**東京藝術大学
赤レンガ1号館**
公開場所 | 1階玄関・階
段室、2階談話室
来場者数 | 2,439人



東京都美術館
公開場所 | 旧野外彫塑室
来場者数 | 1,269人



桜縁荘
公開場所 | 庭、1階、2階
来場者数 | 259人



**国立国会図書館
国際子ども図書館**
展示場所 | レンガ棟3階
ホールにて、建築資料の
展示と改修の様子を紹介
する映像を上映
来場者数 | 1,815人

特別展示

特別公開



安井建築設計事務所 東京事務所

公開場所 | 1階・2階 パブリックスペース
来場者数 | 1,641人



神田ポートビル

公開場所 | サウナ前室、茶室、共用階段、ほぼ日の学校
来場者数 | 2,163人



岡田ビル

公開場所 | 屋上、共用階段、1階、2階
来場者数 | 2,308人



旧近衛師団司令部庁舎

公開場所 | 1階エントランスホール、階段、2階休憩室
来場者数 | 5,735人

特別公開



共立講堂

公開場所 | 1階エントランスホール・客席、2階ホール・客席
来場者数 | 2,665人



日本大学 理工学部 駿河台校舎1号館

公開場所 | 5階CSTギャラリーにて、学生作品の展示および講評会
来場者数 | 200人



パレスサイド・ビルディング

公開場所 | 屋上
来場者数 | 5,406人



JINS東京本社

公開場所 | 1階エントランス、2階 原っぱ（多目的スペース）、3階ギャラリー、5階 執務室
来場者数 | 544人

特別展示



マーチエキュート 神田万世橋 (旧万世橋駅)

展示場所 | 館内1階で建築資料の展示
来場者数 | 2,822人



ワテラス

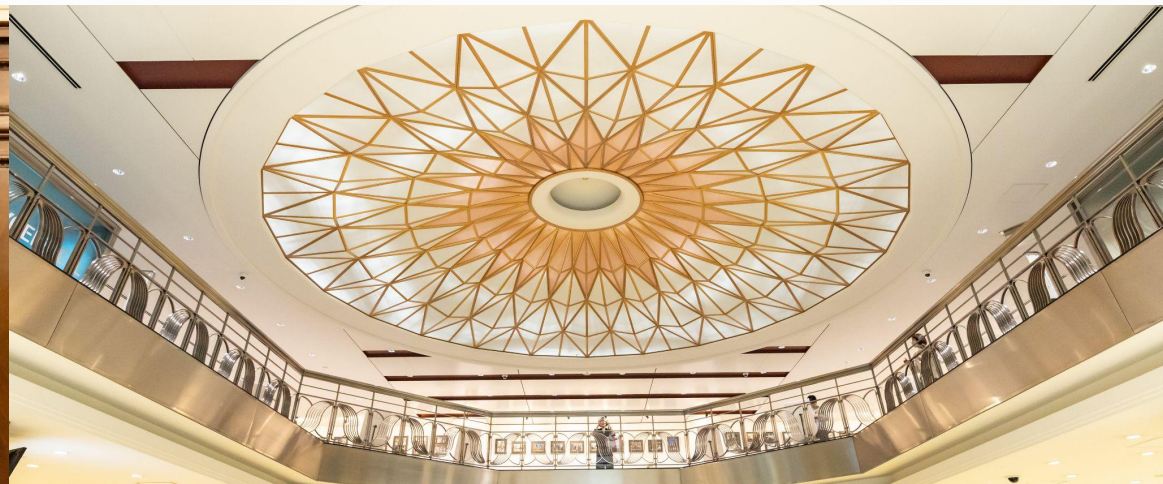
展示場所 | ワテラスコモン2階 ギャラリーに建築資料をパネル展示
来場者数 | 1,036人



パレスサイド・ビルディング

展示場所 | 地下1階毎日ホール横/展示室に当時の図面、写真、レンガ、組紐の実物を展示
来場者数 | 7,850人





特別公開



明治生命館

公開場所 | 7階講堂
来場者数 | 1,929人



明治生命館

展示場所 | 明治生命館1階にて、明治生命館が建設される前に建っていた三菱二号館の巨大フォトモンタージュを展示
来場者数 | 10,986人



第一生命日比谷ファースト

展示場所 | 1階公開空地にて、美術作品・建築資料を展示
来場者数 | 4,456人



新東京ビルディング

展示場所 | 2階丸の内フォトギャラリーで杉山雅則に関連する建築資料を展示
来場者数 | 944人



旧東京中央郵便局

展示場所 | 4階旧郵便局長室 J Pタワー前地下広場
展示ショーケースにて、創建時の図面や保存復原工事の資料を展示
来場者数 | 6,242人

特別公開



日証館

公開場所 | 1階エントランスホール、階段、2階エレベーターホール
来場者数 | 2,038人



三井本館

公開場所 | 合名玄関、エレベーター、5階オフィスフロア
来場者数 | 2,037人



丸石ビルディング

公開場所 | 1階エントランスホール
来場者数 | 3,028人



HAMACHO HOTEL

公開場所 | TOKYO CRAFT ROOM
来場者数 | 860人

特別公開



HAMACHO FUTURE LAB

公開場所 | 木造棟、鉄骨造棟2階
来場者数 | 731人



三越劇場

公開場所 | 劇場、ロビー
来場者数 | 298人



常盤小学校

公開場所 | 旧館廊下、旧館中二階屋上、新館和室、新館日本橋歴史アーカイブス
来場者数 | 4,552人



八重洲ダイビル

公開場所 | 3階 ouno八重洲 × Compass Offices
来場者数 | 744人



特別公開・特別展示 / 銀座・築地

特別公開



戸田建設 本社ミュージアム TODA CREATIVE LAB “TODAte?”

公開場所 | TODA BUILDING 戸田建設本社 8階 TODA CREATIVE LAB “TODAte?”
来場者数 | 371人



江戸屋

公開場所 | 1階店舗土間
来場者数 | 248人



日本橋三越本店

展示場所 | 本館屋上エレベーターホールに創建当時の建築資料を展示
来場者数 | 2,938人

特別展示

特別公開



旧宮脇ビル (川崎ブランドデザインビルディング)

公開場所 | MUSEE GINZA
来場者数 | 617人



カトリック築地教会

公開場所 | 聖堂、資料室
来場者数 | 1,083人

特別展示



日比谷OKUROJI

展示場所 | G14区画にて、鉄道高架下の歴史や施設の資料を展示
来場者数 | 13,500人



有楽町マリオン (有楽町センタービル)

展示場所 | 8階センターロビーで歴史を辿る写真展を開催
来場者数 | 3,802人





特別公開



ウォーターズ竹芝
公開場所 | 竹芝干潟
来場者数 | 191人



旧新橋停車場
公開場所 | 2階貴賓室
来場者数 | 694人



BLUE FRONT SHIBAURA
公開場所 | 3階 オフィス
ロビー・ラウンジ
来場者数 | 1,677人



SHIBAURA HOUSE
公開場所 | 1階-5階
来場者数 | 1,008人



港区立伝統文化交流館
公開場所 | 館内裏階段、
楽屋
来場者数 | 758人

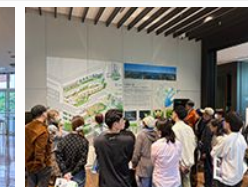
特別展示



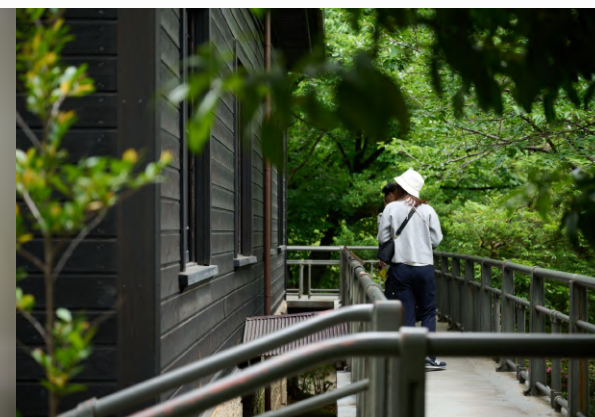
ウォーターズ竹芝
展示場所 | シアター棟 ア
トレ竹芝1階で構想プロセ
スや図面を紹介
来場者数 | 246人



**港区生涯学習
センター ばるーん**
展示場所 | 2階、3階ば
るーんギャラリーにて、
寄贈品を含む小学校当時
の資料を展示
来場者数 | 268人



**東京ポートシティ
竹芝**
展示場所 | 3階まちづくり
プラザにて、環境取組み
紹介とエリア模型を展示
来場者数 | 1,231人



特別公開



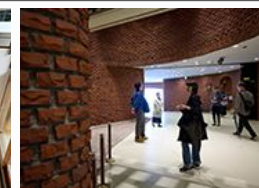
カナダ大使館

公開場所 | カナダガーデン、エグゼクティブ・ダイニングルーム、高円宮記念ギャラリー、オスカ・ピーターソンシアター、E・H・ノーマン図書館
来場者数 | 3,854人



全日本海員組合本部会館

公開場所 | 屋上
来場者数 | 933人



ノアビル

公開場所 | 1階正面玄関、地下エントランス前
来場者数 | 1,057人



旧乃木邸

公開場所 | 地下1階、1階
来場者数 | 877人



鹿島KIビル

公開場所 | 2階アトリウム他
来場者数 | 3,885人



リノベル

公開場所 | 地下1階、2階、3階一部
来場者数 | 1,132人



スパイラル

公開場所 | 8階、9階
来場者数 | 228人



特別公開



港区立郷土歴史館
公開場所 | 建物裏側、
鉄骨大屋根エリア
来場者数 | 1,881人



**慶應義塾
三田演説館**
公開場所 | 三田演説館
内部
来場者数 | 3,223人



東京都庭園美術館
公開場所 | 本館中庭
来場者数 | 482人



**普連土学園中学校
・高等学校
中学校舎**
公開場所 | 1階中庭、多
目的室他
来場者数 | 2,136人



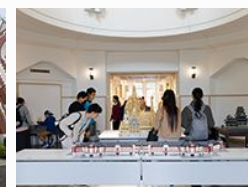
**TAKANAWA
GATEWAY CITY**
展示場所 | Gateway
Studio内で、まちづくり
資料・模型の展示
来場者数 | 2,010人



**品川インター
シティ**
展示場所 | A棟2階通路に
過去・現在・未来を見据
えた開発資料を展示
来場者数 | 2,184人



**慶應義塾
図書館旧館**
展示場所 | 2階の福澤諭
吉記念 慶應義塾史展示
館で旧図書館の貴重な
図面やパネルを展示
来場者数 | 7,476人



港区立郷土歴史館
展示場所 | 4階のホワイ
エで、東京大学レゴ部
による大作「東京駅」
と「サグラダ・ファミ
リア」を展示
来場者数 | 2,492人

特別公開



温故学会会館

公開場所 | 2階和室
来場者数 | 1,268人



広尾小学校

公開場所 | 望楼、屋上、校庭
来場者数 | 1,756人



國學院大學

公開場所 | 18階有栖川宮記念ホール
来場者数 | 682人

特別展示



ヒルサイドテラス

展示場所 | ヒルサイドプラザにて「ヒルサイドテラスのあゆみ-完成までの30年」のパネルを展示
来場者数 | 540人



その他エリア

特別公開



NOVARE Archives
(清水建設歴史資料館)

公開場所 | NOVARE Archives (清水建設歴史資料館)
来場者数 | 480人



光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所

公開場所 | 3階ホワイトルーム
来場者数 | 369人



久米設計本社ビル

公開場所 | 1階アトリウム、2階展示スペース
来場者数 | 402人



日建設計東京オフィス (本店)

展示場所 | 日建設計東京ビルの1・2階にて、手描き・CAD図面の展示と、デジタル展示体験を実施
来場者数 | 1,204人





【朝倉彫塑館】建築史家と巡る、
彫刻家・朝倉文夫が築いた美の空間

ガイド | 小沢朝江（東海大学）
開催回数 | 3回 参加者数 | 36人



【国立国会図書館 国際子ども図書館】建築史家と紐解く、
様式建築と安藤忠雄の挑戦

ガイド | 藤木竜也（千葉工業大学）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【東京国立博物館】建築から見る東博の魅力、
改修設計者といく弾丸ツアー

ガイド | 木村佐近（安井建築設計事務所）
開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【2k540】開発担当者と歩く、
高架下を再生した新たなものづくりのまち

ガイド | ジェイアール東日本都市開発
開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【上野公園】美術・音楽・学びを支える建築探訪

ガイド | 君塚和香・森徹（東京ヘリテージマネージャーの会）
開催回数 | 6回 参加者数 | 120人



【東京文化財研究所】建築から読み解く、文化財保存の舞台裏

ガイド | 金井健（文化遺産国際協力センター）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【桜縁荘（旧唐木田家住宅）】更地の危機から次の100年へ。
大正住宅の改修プロジェクト

ガイド | 宮崎晃吉（HAGISO）、川原温（谷根千工房）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【本郷】坂道と建築から読み解く、学生街のかたち

ガイド | 山崎裕之・野上恵子・工藤夕佳・大岡まどか（東京ヘリテージマネージャーの会）
開催回数 | 2回 参加者数 | 30人



【谷中】道と建物に残る、江戸からの記憶をたどる

ガイド | 梅田太一・近藤孝夫・鹿野正樹（東京ヘリテージマネージャーの会）
開催回数 | 4回 参加者数 | 60人

02-04 | ガイドツアー / 神田・九段



【リクルート九段坂上KSビル】個とチームの相乗で創造性を高める、リノベーションオフィスを見る

ガイド | 古川徹・西田華乃（リクルート）

開催回数 | 3回 参加者数 | 45人



【JINS東京本社】壊しながらつくる、創造の原点に立ち返る実験的オフィス空間

ガイド | 高濱史子（建築家）、JINS

開催回数 | 3回 参加者数 | 60人



【岡田ビル】減築×デザイン、都市建築の再生プロセスとその魅力を体感

ガイド | 再生建築研究所

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【神田多町・須田町】震災から戦火を生き抜いた町並みを歩く

ガイド | 大橋智子・松澤茂・益田あけみ・秋山千尋（東京ヘリテージマネージャーの会）

開催回数 | 3回 参加者数 | 66人



【パレスサイド・ビルディング】半世紀を超える、モダニズム建築の設計思想を学ぶ

ガイド | 岡田耕治・中屋敷公一（日建設計）

開催回数 | 2回 参加者数 | 80人



【神田ポートビル】設計者とめぐる、癒しと学びで育むまちの文化拠点

ガイド | 藤本信行（建築家）

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【旧万世橋駅】赤レンガの鉄道遺構と再生活用空間を巡る

ガイド | 東日本旅客鉄道 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス

開催回数 | 2回 参加者数 | 30人



【御茶ノ水ソラシティ・ワテラス】設計者と歩く、2つの街区をつなぐ都市創造プロジェクト

ガイド | 伊勢季彦・村瀬宏典（大成建設）、持田誠一（佐藤総合計画）

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【共立講堂】客席から舞台裏へ、昭和初期の講堂建築を巡る

ガイド | 古賀大（共立女子大学）

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



02-04 | ガイドツアー / 大手町・丸の内・有楽町



【東京ステーションホテル】東京駅復原に携わった建築史家と
いく名門ホテル、コースランチ付き

ガイド | 大内田史郎（建築史家）
開催回数 | 3回 参加者数 | 45人



【東京ステーションホテル】辰野金吾が手がけた東京駅丸の内
駅舎内の名門ホテルを巡る、館内特別ツアー

ガイド | 東京ステーションホテル
開催回数 | 3回 参加者数 | 117人



【東京ステーションギャラリー】復原に携わった建築史家と赤
煉瓦の展示室へ、開館前の特別見学

ガイド | 大内田史郎（建築史家）、半澤紀恵（東京ステーションギャラリー）
開催回数 | 1回 参加者数 | 20人



【明治生命館】岡田信一郎の代表作、建築史家と読み解く特別
ガイドツアー

ガイド | 田所辰之助（建築史家）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【日本工業倶楽部会館】本格的なセセッション様式建築、館内
特別ツアー

ガイド | 須藤啓（三菱地所設計）、野村和宣（神奈川大学）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【東京国際フォーラム】世界的建築家の代表作を屋上や非公開
エリアから見る

ガイド | 茂木完一（東京国際フォーラム）
開催回数 | 4回 参加者数 | 80人



【大手町ビル】改修設計者と大手町ビル巡り、屋上庭園
SKYLABを見学

ガイド | 荒井拓州（三菱地所設計）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【丸の内・有楽町】設計者と巡る、戦後ビルと継承される目抜
き通り

ガイド | 江島知義（三菱地所設計）、桐澤航（三菱地所）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【丸の内仲通り】135年の変遷をたどる、都市のランドスケープ

ガイド | 植田直樹・鰐淵卓（三菱地所設計）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【丸の内熱供給】街全体の建築群をつなぐ、
地下エネルギープラント特別潜入

ガイド | 古田島雄太（丸の内熱供給）
開催回数 | 2回 参加者数 | 36人



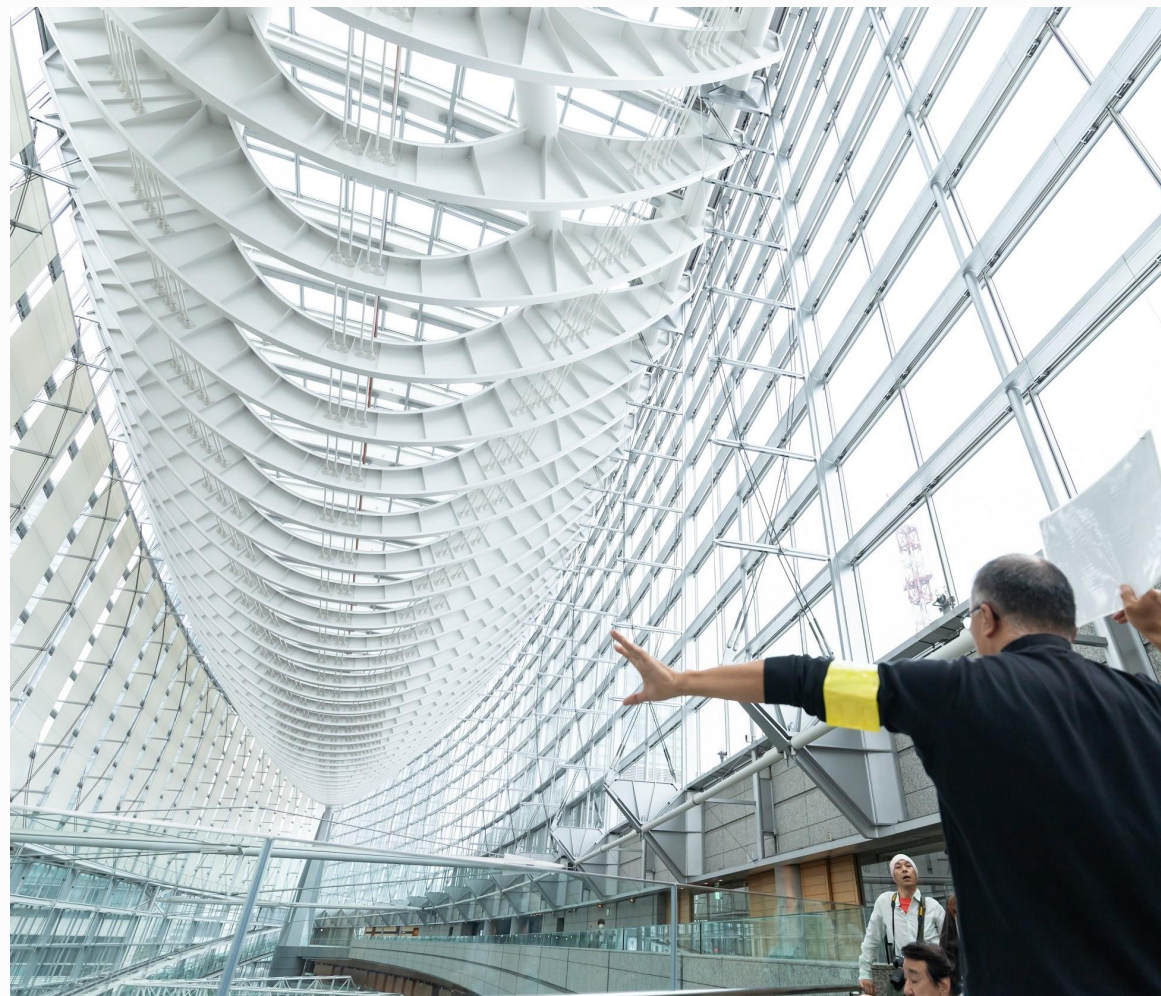
【Torch Tower】設計者・施工者と迫る、
日本一の超々高層開発プロジェクト

ガイド | 住谷寛・永田大輔（三菱地所設計）、竹原直規（清水建設）
開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【日比谷公園】親子で建築さんぽ ヒミツ発見

ガイド | 和田菜穂子（東京建築アクセスポイント）
開催回数 | 1回 参加者数 | 8組



02-04 | ガイドツアー / 大手町・丸の内・有楽町



【日比谷通り・丸の内仲通り】建築士が解き明かす名建築の保存活用と都市景観の秘密

ガイド | 南木政博・久保島君代（東京ヘリテージマネージャーの会）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【旧東京中央郵便局】建築史家&改修設計者と、モダニズム建築の保存と再生を巡る

ガイド | 田所辰之助（建築史家）、大西康文（三菱地所設計）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【NTT日比谷タワー】計画者と見つめる、未来の都心像

ガイド | 筧雄平・福井章友（NTTファシリティーズ）、山本茂和（NTT都市開発）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【東京會館】甲斐みのりさんと巡る“社交の殿堂”と季節の贈り物

ガイド | 甲斐みのり（文筆家）
開催回数 | 1回 参加者数 | 25人



【帝国ホテル東京】日本最高峰のホテル、村野藤吾の茶室「東光庵」へ

ガイド | 帝国ホテル東京
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【日比谷公園】建築史家といく都市と公園の近代化の歴史

ガイド | 和田菜穂子（東京建築アクセスポイント）
開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【丸の内地下空間】進化する地下空間、その最前線を計画担当者と巡る

ガイド | 白根哲也・高瀬太郎（三菱地所）
開催回数 | 2回 参加者数 | 36人



【丸の内建築保存部材倉庫】本物に触れ、メタバースでよみがえる建築の記憶

ガイド | 野村和宣（神奈川大学）、館崎麻衣子・稲毛洋也・喜久里尚人（三菱地所設計） 開催回数 | 2回 参加者数 | 30人



【三菱一号館】現代によみがえったコンドル建築の魅力と、復元の舞台裏を知る

ガイド | 江島知義・山田綾乃（三菱地所設計）
開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【三菱一号館】コンドル建築の復元プロセスと魅力をたどる、Café1894ランチ付きツアー

ガイド | 江島知義・山田綾乃（三菱地所設計）
開催回数 | 1回 参加者数 | 12人



【東京サンケイビル】都市とつながる大規模オフィスビルを巡る

ガイド | 渋谷高陽（サンケイビル）
開催回数 | 2回 参加者数 | 30人



【日比谷公園】建築の魅力探求、心動く瞬間を伝える建築ジャーナル体験

ガイド | ロンロ・ボナペティ（ライター）
開催回数 | 3回 参加者数 | 60人



02-04 | ガイドツアー / 日本橋・京橋



【三井本館】旧三井財閥の本拠、「東洋一の大金庫」と旧三井信託の社長室を体験

ガイド | 三井住友信託銀行日本橋営業部
開催回数 | 4回 参加者数 | 81人



【日本橋三越本店】百貨店の発展を象徴する重要文化財を歩く

ガイド | 日本橋三越本店
開催回数 | 2回 参加者数 | 30人



【兜町】生まれ変わる金融街、日証館・旧第一銀行本店附属新館・兜町第7平和ビルの今を巡る

ガイド | 宮部浩幸・清水均・遠山綾介 (SPEAC)
開催回数 | 3回 参加者数 | 60人



【丸石ビルディング】希少な近世ロマネスク様式、館内特別ツアー

ガイド | 井上義也 (太洋商会)
開催回数 | 2回 参加者数 | 20人



【日本橋】老舗の商家建築巡り、江戸屋・戸田屋商店・華硝を見学

ガイド | 若原一貴 (東京建築アクセスポイント)
開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【江戸屋】享保創業の老舗とアールデコが響き合う看板建築、内部を特別案内

ガイド | 東京ヘリテージマネージャーの会
開催回数 | 5回 参加者数 | 50人



【壺中居・ブラスリーTOYO】甲斐みのりさんと巡る、東畑謙三の古美術商建築と老舗洋食店のいちごパフェ

ガイド | 甲斐みのり (文筆家)、中村文紀・山田一彰 (東畑建築事務所)
開催回数 | 1回 参加者数 | 20人



【日本橋浜町】まちづくりの仕掛け人と歩く、新たな魅力が生まれ続けるまち

ガイド | 西田司 (オンデザインパートナーズ)、廣渡亮也 (安田不動産)
開催回数 | 5回 参加者数 | 100人



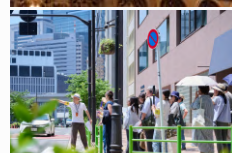
【HAMACHO HOTEL】デザイナーの解説で、暮らしとホテル、緑と手しごとが調和する空間へ

ガイド | 寶田陵 (デザイナー/建築家)
開催回数 | 3回 参加者数 | 30人



【三越劇場】舞台の余韻から読み解く、百年劇場の空間

ガイド | 深川絵美 (劇団民藝)、齊木由多加 (三越劇場)
開催回数 | 1回 参加者数 | 20人



【日本橋】江戸都市文化の原点を歩く

ガイド | 新野圭二郎 (日本橋アーカイブス)
開催回数 | 4回 参加者数 | 80人



【日本橋横山町・馬喰町】建築アトリエが集う「さんかく問屋街」を、まちの実践者と歩く

ガイド | 唐品知浩 (横山馬喰)、富川浩史 (建築家)、丸山裕貴 (建築家)、MIDORI.so、UR都市機構 開催回数 | 4回 参加者数 | 60人



【日本橋本町三井ビルディング & forest】つくり手が語る、日本初の木造超高層プロジェクト

ガイド | 岩崎匠・福島一夫 (竹中工務店)、岡田七峰 (三井不動産)
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【兜町】開発者と歩く、建物をつなぐまちづくり

ガイド | 伊勢谷俊光 (平和不動産)
開催回数 | 3回 参加者数 | 45人



【ミュージアムタワー京橋ビル】都市と芸術をつなぐ摩天楼、その設計思想に触れる

ガイド | 矢野雅規 (日建設計)
開催回数 | 1回 参加者数 | 20人



【連携企画】首都高速地下化へ、船でたどる名橋・日本橋の100年とこれから

主催 | 名橋「日本橋」保存会、株式会社東京湾クルージング
共催 | 東京建築祭実行委員会
ガイド | 福島深雪 (日本橋三越本店)、日本橋観光案内所、日隈宏治 (首都高速道路) 参加数 | 30人

02-04 | ガイドツアー / 銀座・築地



【教文館・聖書館ビル】A.レーモンドの名建築へ、非公開エリアに潜入

ガイド | 渡部満・森岡新（教文館）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【銀座ライオンビル】甲斐みのりさんと「名建築でランチを」クラシックホールで特別ランチ

ガイド | 甲斐みのり（文筆家）
開催回数 | 1回 参加者数 | 57人



【GINZA KABUKIZA】設計者、施工者といく歌舞伎座&歌舞伎座タワー、屋上庭園まで

ガイド | 住谷覚（三菱地所設計）、仲林清文（清水建設）
開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【日比谷OKUROJI】開発担当者と紐解く、煉瓦アーチと鉄道高架下建築の魅力

ガイド | ジェイアール東日本都市開発
開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【SEIKO HOUSE】時を紡ぐ銀座のランドマークを開館前に見学

ガイド | 眞田伸子（セイコーグループ）
開催回数 | 3回 参加者数 | 60人



【ハイアット セントリック 銀座 東京】土地の記憶をつなぐアートとデザインを堪能、ランチ付きツアー

ガイド | 内山渡教（ハイアット セントリック 銀座 東京）、田中敏明・磯真之介（鹿島建設） 開催回数 | 3回 参加者数 | 60人



【銀座】美と文化の散歩旅、資生堂ギャラリーと未来唐草の資生堂銀座ビル内部へ

ガイド | 吉田聖子・他「銀座を愛する資生堂社員たち」（資生堂）
開催回数 | 4回 参加者数 | 60人



【三井デザインテック本社】未来の働き方をデザインするオフィスを見学

ガイド | 三井デザインテック
開催回数 | 3回 参加者数 | 60人



【朝日新聞東京本社】“印刷の神様”が案内する、地下の巨大印刷工場

ガイド | 村瀬岳彦（朝日プリンテック）
開催回数 | 2回 参加者数 | 28人



【銀座高木ビル】設計者と巡る、銀座に浮かぶ木造建築

ガイド | 山路哲生・梶並直貴（山路哲生建築設計事務所）
開催回数 | 1回 参加者数 | 10人



【東京ミッドタウン日比谷】デザインを読み解き、再開発の裏側に迫る、特別ガイドツアー

ガイド | 皆川典久（東京スリパチ学会/鹿島建設）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【井筒屋】職人技が息づく築100年の町家、その再生の設計秘話を聞く

ガイド | the design labo
開催回数 | 3回 参加者数 | 18人



【銀座の帝都復興建築】ヘリテージマネージャーと巡る、震災復興と銀座の建築遺産

ガイド | 金山真人（東京ヘリテージマネージャーの会）
開催回数 | 2回 参加者数 | 30人



【築地】洋館・町家・看板建築を巡る、ハイカラ×レトロな街歩き

ガイド | 金山真人（東京ヘリテージマネージャーの会）
開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【GINZA SIX】設計者といく都市再生の舞台裏、能楽堂や非公開エリアを特別見学

ガイド | 坂本弘之（鹿島建設）
開催回数 | 2回 参加者数 | 21人



【築地・佃島】川とともに変わる街を、建築から読む

ガイド | 柴田直政・菅田麻里（東京ヘリテージマネージャーの会）
開催回数 | 4回 参加者数 | 60人



【JINS銀座店】設計者と感じる、やわらかな和とアートの共鳴

ガイド | 藤本壮介（建築家）
開催回数 | 1回 参加者数 | 24人



【銀座】建築史家と銀ブラ建築さんぽ「考現学のいま」

ガイド | 岸佑（東京建築アクセスポイント）
開催回数 | 2回 参加者数 | 30人

02-04 | ガイドツアー / 新橋・竹芝・芝浦



【新橋駅前ビル】現代に生きる戦後復興のシンボル、変遷とその魅力に迫る特別ツアー

ガイド | 弓崎浩一・高橋真弓 (佐藤総合計画)

開催回数 | 2回 参加者数 | 30人



【汐留・新橋・イタリア街】東京スリパチ学会と歩いて知る街の個性

ガイド | 皆川典久 (東京スリパチ学会/鹿島建設)

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【増上寺三解脱門】重要文化財保存修理の現場を特別見学

ガイド | 河村壽則・沼田穰・栗子岳大 (清水建設)

開催回数 | 3回 参加者数 | 45人



【SHIBAURA HOUSE】新たに生まれた宿泊空間も公開、浮遊するような建築を歩く

ガイド | 浜田英明 (法政大学)、山本力矢 (SANAA)、伊東勝・澤田綱史 (SHIBAURA HOUSE) 開催回数 | 3回 参加者数 | 30人



【東京ポートシティ竹芝】水と緑の竹芝新八景を巡る

ガイド | 水野さえ子 (かたばみ)

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【ウォーターズ竹芝】設計者と巡る水辺の新拠点、非公開エリアの見学ツアー

ガイド | 朴明浩 (JR東日本建築設計)

開催回数 | 2回 参加者数 | 20人



【芝】東京タワーを望む、建築史の散歩道

ガイド | 神田雅子・伊藤万紀子 (東京ヘリテージマネージャーの会)

開催回数 | 2回 参加者数 | 30人



【ニュー新橋ビル】昭和のヤミ市跡に建つ、伝説の“シブビル”を探検

ガイド | 初田香成 (工学院大学)、鈴木伸子、小林晋 (松田平田設計)

開催回数 | 2回 参加者数 | 50人



【堀ビル】再生した新橋のランドマークを巡る、屋上から地下まで

ガイド | 中嶋徹・杉本照彦 (竹中工務店)、グッドルーム

開催回数 | 3回 参加者数 | 60人



02-04 | ガイドツアー / 六本木・赤坂・青山



【フィンランド大使館】建築とデザインから知る、北欧の思想

ガイド | エルナ・ニュカネン＝アンダーソン（広報文化外交/コミュニケーション参事官）

開催回数 | 1回 参加者数 | 10人



【サントリーホール】“世界一美しい響き”ホールの舞台裏に特別潜入

ガイド | サントリーホールレセプションリスト

開催回数 | 1回 参加者数 | 60人



【国際文化会館】モダニズム建築の三大巨匠の共作へ、特別な庭園散策とコースランチ付きツアー

ガイド | 柳澤洋一・村井庄一・下山大輝（国際文化会館）

開催回数 | 1回 参加者数 | 38人



【スペイン大使館】ガーディナー最晩年のスパニッシュ・スタイル洋館

ガイド | ハビエル・サンチェス、フェルナンド・クルシオ（スペイン大使館）

開催回数 | 1回 参加者数 | 30人



【全日本海員組合本部会館】受け継がれるモダニズムと、生き続ける建築

ガイド | 野沢正光建築工房

開催回数 | 1回 参加者数 | 20人



【オカモトヤ】休息をデザインする、これからのオフィス

ガイド | 鈴木美樹子

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【サニーヒルズ南青山】木組みファサードの建築を巡るティータイム付きツアー

ガイド | 堂園有的（SunnyHills Japan）

開催回数 | 4回 参加者数 | 60人



【六本木ヒルズ】通常非公開の屋上庭園から探る都市の共生

ガイド | 森ビル

開催回数 | 6回 参加者数 | 121人



【リノベる】9つのアクティビティで探る、未来のオフィスの実験場ツアー

ガイド | 西郷俊彦・高津正浩・古久保拓也（リノベる）

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【とらや 赤坂店】甲斐みのりさんと「名建築でスイーツを」和菓子文化を味わう

ガイド | 甲斐みのり（文筆家）

開催回数 | 1回 参加者数 | 18人



【カナダ大使館】レイモンド・モリヤマが描いた、日本とカナダをつなぐ建築

ガイド | カナダ大使館スタッフ

開催回数 | 4回 参加者数 | 80人



【Embassy of Canada】Between Japan and Canada:The Architecture of Raymond Moriyama

ガイド | Embassy Staff

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【メキシコ大使館】大江宏のモダニズムを味わう

ガイド | メキシコ大使館スタッフ

開催回数 | 2回 参加者数 | 120人





【港区立郷土歴史館（旧公衆衛生院）】近代建築の名作、設計担当者と巡る保存と活用の軌跡

ガイド | 古賀大（共立女子大学）、内藤浩司（日本設計）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【品川インターシティ】非公開の屋上から品川エリアを一望、都市の進化の軌跡を巡る

ガイド | 日鉄興和不動産、品川インターシティマネジメント、大林組
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【高輪・白金】戦前から現代まで、隠れた名建築を探訪する

ガイド | 樋山裕己・吹抜陽子・竹田あゆみ（東京ヘリテージマネージャーの会）
開催回数 | 3回 参加者数 | 45人



【建築倉庫】建築模型で体感する、東京のもう一つの姿

ガイド | 近藤以久恵（建築倉庫）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【品川シーズンテラス】都市の足元から未来を支える建築

ガイド | 甘粕陽介・傳田大樹（NTTファシリティーズ）
開催回数 | 2回 参加者数 | 20人



【MoN Takanawa・THE LINKPILLAR 2】これからの心豊かな暮らしの実験場

ガイド | 浦木拓也（日本設計）、野平展丘（JR東日本建築設計）、新沼沙智子（東日本旅客鉄道） 開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【MoN Takanawa】100年先へ文化をつなぐ創造拠点へ潜入

ガイド | 野平展丘（JR東日本建築設計）、新沼沙智子（東日本旅客鉄道）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【大林組本社】通常非公開オフィスで巡る現代アートコレクション

ガイド | 大林組
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【普連土学園 中学校舎】学びの風景をつくる建築

ガイド | 山田明子
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【慶應義塾 図書館旧館】地下免震層と屋根裏でたどる建築の記憶

ガイド | 都倉武之（慶應義塾）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【高輪ゲートウェイ駅】照明デザイナーと巡る光の建築ツアー

ガイド | 窪田麻里・東悟子（照明探偵団）
開催回数 | 1回 参加者数 | 20人

02-04 | ガイドツアー / 渋谷



【ミナガワビレッジ】再生建築がつなぐ土地の記憶

ガイド | 再生建築研究所

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【ワタリウム美術館】展覧会場から屋上・バックヤードまで、建築とアートを味わう特製和菓子付きツアー

ガイド | ワタリウム美術館

開催回数 | 4回 参加者数 | 76人



【旧朝倉家住宅】意匠に宿る、暮らしの記憶

ガイド | 大林寛明（渋谷サービス公社）

開催回数 | 2回 参加者数 | 30人



【原宿クエスト・WITH HARAJUKU】通過が滞在に変わる原宿駅前の都市実験

ガイド | 外尾政信・福井啓晃（NTTファシリティーズ）

開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【SHIBUYA CAST.】拡張家族と考える、これからの住空間

ガイド | 横沢ローラ・あくつまい（Cift）

開催回数 | 2回 参加者数 | 37人



【渋谷】宇田川町を建築ジャーナリストと歩く、アーバンスモールビル群と路地裏カルチャー探訪

ガイド | 磯達雄（東京建築アクセスポイント）

開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【渋谷】青山通りの裏に潜むアーバンスモールビル群を、建築ジャーナリストと味わう坂みち散歩

ガイド | 磯達雄（東京建築アクセスポイント）

開催回数 | 1回 参加者数 | 15人



【デンマーク大使館】文化を映す住まいーモダニズムの大使公邸へ

ガイド | ヤール・フリース＝マスン、吉元 美帆、レアケ・リンド・イエンセン（デンマーク大使館） 開催回数 | 1回 参加者数 | 50人



【渋谷】世界一のスリバチタウン、地形と歴史の断面を歩く

ガイド | 皆川典久（東京スリバチ学会/鹿島建設）

開催回数 | 3回 参加者数 | 60人



【ヒルサイドテラス】30年×30年 トーク & 槇総合計画事務所 オフィスツアー

ガイド | 朝倉健吾（ヒルサイドテラス）、亀本ゲーリー（建築家）

開催回数 | 1回 参加者数 | 16人

ガイドツアー / その他



【梓設計】空と働く建築-梓設計オフィス×ANA BLUE BASE ツアー

ガイド | 本田勝平（梓設計）

開催回数 | 2回 参加者数 | 30人



【大学セミナーハウス】吉阪隆正の群造形と学びの空間を歩く

ガイド | 鯨坂徹・玄田悠大（DOCOMOMO Japan）

開催回数 | 1回 参加者数 | 20人



神田・九段



【連携企画】ミライ地図つくろうワークショップ

主催 | 建築ミライラボ
参加者数 | 234人

大手町・丸の内・有楽町



【丸の内】親子で語る対話型建築鑑賞

ガイド | 倉方俊輔（建築史家）
開催回数 | 1回 参加者数 | 10組



【丸の内】設計者による特別レクチャー、130年を超える丸の内開発の裏側とまち歩きの楽しみ

ガイド | 野村和宣（神奈川大学）、東海林孝男（三菱地所設計）
開催回数 | 2回 参加者数 | 40人



【連携企画】日比谷カレッジ | 東京 文学者の和室を味わうー東京建築祭でみつける隠れた魅力 2ー

主催 | 千代田区立日比谷図書文化館 / 共催 | 東京建築祭実行委員会
参加者数 | 200人



【連携企画】和田倉噴水公園店で楽しむパネル展示 | スターバックスの建築

主催 | スターバックス コーヒー 皇居外苑 和田倉噴水公園店
参加者数 | 80人



【連携企画】東京建築アクセスポイントワークショップ | パスタタワー選手権

主催 | 東京建築アクセスポイント
協力 | 日建設、東武タワースカイツリー
参加者数 | 36人

日本橋・京橋



【日本橋浜町】まちかどの風景をつくる建築模型ワークショップ

ガイド | オンデザインパートナーズ、廣渡亮也（安田不動産）
開催回数 | 3回 参加者数 | 60人



【八重洲ダイビル】顔の見える建築をつくろうー若手建築家×起業家トークセッション

ガイド | 荒川公良（toolbox）、佐竹雄太（アラウンドアーキテクチャー）、山根脩平（tecture）、田代夢々（Ateliers Mumu Tashiro）
開催回数 | 1回 参加者数 | 40人



【八重洲ダイビル】生き続ける建築とまちー建築家たちの実践ー

ガイド | 須藤剛（須藤剛建築設計事務所）、宮崎晃吉（HAGISO）、山道拓人（法政大学）、山口陽登（YAP.Inc） 開催回数 | 1回 参加者数 | 40人



【連携企画】日本橋浜町・建築BAR | 建築とひとが織りなすまちの魅力を体感

主催 | 日本橋浜町エリアマネジメント
ガイド | 西田司（オンデザインパートナーズ）、廣渡亮也（日本橋浜町エリアマネジメント）、大久保佳代（東京建築祭） 参加者数 | 100人



銀座・築地



【日比谷OKUROJI】 ガウディ | 未来をひらく窓

ガイド | 山村健 (東京工芸大学)
開催回数 | 1回 参加者数 | 50人



【日比谷OKUROJI】 東京建築祭×DOCOMOMO Japan | 建築の価値をひらく

ガイド | 倉方俊輔 (東京建築祭)、鯉坂徹・瀬原澄子・玄田悠大 (DOCOMOMO Japan) 開催回数 | 1回 参加者数 | 51人



【連携企画】 建築短編映画「シンガポールの夏」 上映会

主催 | Shiya Creative Studio Pte. Ltd.
参加者数 | 56人



【連携企画】 隈研吾ドキュメンタリー映画『粒子のダンス』 公開記念対談トーク | 建築教育について

主催 | NPO法人湘南遊映坐
ガイド | 中村航 (建築家)、岡博大 (映画監督) 参加者数 | 50人

新橋・竹芝・芝浦



【港区立伝統文化交流館】 親子で参加する 折り紙建築ワークショップ

ガイド | 茶谷亜矢 (オリガミックアーキテクチャー)
開催回数 | 1回 参加者数 | 20組



【連携企画】 東畑建築事務所「清林文庫展」

主催 | 東畑建築事務所
参加者数 | 200人

六本木・赤坂・青山



【オカモトヤ】 東京をつくる、東京でつくる 一若手女性建築家の対話

ガイド | 田代夢々 (Ateliers Mumu Tashiro)、加藤麻帆・物井由香 (katomonoi)、殿前莉世・平井未央・福留愛 (iii architects)
開催回数 | 1回 参加者数 | 22人



【K&Kアトリエ】 黒川雅之さんレクチャー 創造の時代から発見の時代へ

ガイド | 黒川雅之 (建築家)
開催回数 | 1回 参加者数 | 30人



【リノべる】 アップサイクルから生まれる、世界に一つの灯りづくりワークショップ

ガイド | さいとうとる (Pimlico Arts Japan)、田川ケイ (リノべる)
開催回数 | 3回 参加者数 | 27人



【連携企画】 カナダ大使館 ドキュメンタリー：レイモンド・モリヤマの軌跡

主催 | カナダ大使館
参加者数 | 80人



【連携企画】 YKK AP 21_21 DESIGN SIGHT 東京サテライト展

主催 | YKK AP
参加者数 | 8,700人



【連携企画】 リノべる×Pimlico Arts JAPAN エキシビション

主催 | リノべる
参加者数 | 1,162人



【連携企画】 リノべる・骨董通りの蚤の市

主催 | リノべる
参加者数 | 1,132人





【連携企画】 エコー遺産アカペラライブ！

主催 | 港区立郷土歴史館

共催 | 近畿大学総合社会学部 村松秀ゼミ、Echo tour choir

参加者数 | 437人

渋谷



【SHIBUYA CAST.】 拡張家族Ciftと描く新たな共生のかたち

ガイド | 水口貴博（東急）、横沢ローラ・あくつまい・神田沙織・吉原順一郎・堤庸策（Cift）

開催回数 | 1回 参加者数 | 42人

その他



公式ウェブアプリ「だれでもAI建築（β版）」

開催期間 | 9日間

参加者数 | 306人



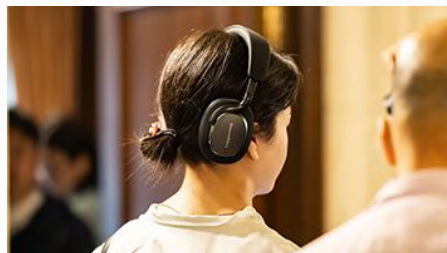
【連携企画】 タイムリープクルーズ
～水辺から見る建築の変遷～

共催 | 東京建築祭実行委員会、ジール、竹芝タウンデザイン 後援 | 千代田区

ガイド | ジール、東日本旅客鉄道、岩本唯史、小林政能 参加者数 | 2,007人



特別公開・特別展示



特別公開・特別展示 | オーディオガイド

倉方俊輔が、特別公開・展示全建築を独自の視点で解説する地図アプリ連動の独自音声コンテンツ。参加者は建築を巡りながら理解を深めた。

収録数 | 70建築 105点

アプリデータダウンロード数 | 1,007件



特別公開・特別展示 | ライブ配信

実行委員長・倉方俊輔が全70件の見所を歴史的背景とともに見所をYouTube生配信で解説。建築巡りの事前理解と期待を高めた。

ガイド | 倉方俊輔（建築史家、東京建築祭実行委員長）
ナビゲーター | 大久保佳代（東京建築祭事務局）

視聴回数 | 9,338回

特別公開

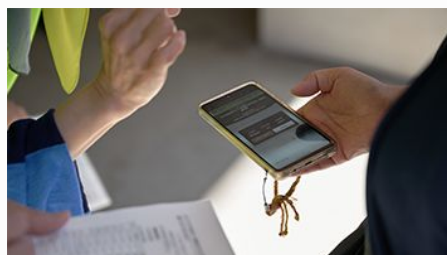


建築ナビゲーター

建築の専門家のべ90名が各建築の特徴や歴史的背景を分かりやすく解説。特別公開をより深く楽しむ見学をサポートした。

対象 | 特別公開建築20件

実働 | 90人



順番待ち申し込み

待機列の確保が難しい会場などに順番待ちシステムを導入。混雑を緩和し、安全でスムーズな建築見学をサポートした。

対象 | 特別公開建築15件



建築写真カード

見学に必要な各種QRコードを建築写真とともに一枚に集約。実用的なツールとして、建築巡りの記録として、今年も好評を得た。

対象 | 特別公開建築50件

その他 連携企画



【連携企画】ブックフェア

各書店と連携し、実行委員の選書などで建築への関心をさらに深める機会を創出した。

開催店舗 | 丸善丸の内本店 / 丸善日本橋店 / 丸善お茶の水店 / ジュンク堂書店池袋本店 / ジュンク堂書店吉祥寺店 / ジュンク堂書店立川高島屋店 / 丸善京都本店 / 教文館書店 / 銀座 蔦屋書店 / 紀伊國屋書店新宿本店



【連携企画】みんなちDROP

写真やコメントをデジタルマップと連携して建築体験を共有。参加建築が主体的に取り組み、まちの魅力を可視化。会期後も楽しめる取り組み。

主催 | 株式会社大林組

利用者数 | 1,681人



【連携企画】MOBI BASE

まちを回遊して楽しむ新たな体験を創出する実証実験と連携。建築巡りの移動を支えるとともに、大丸有エリアのまちづくりの可能性開拓に貢献。

主催 | 一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、株式会社三菱地所設計

利用者数 | 1,273人



【連携企画】無料巡回バス

開催エリアを巡る無料バス各路線と広報連携。運行情報を案内し、エリア間の移動と建築巡りを支え、まちの回遊を促進。

参加路線 | JR竹芝 水素シャトルバス、丸の内シャトル、メトロリンク日本橋、メトロリンク日本橋エライ



【連携企画】観光案内所

会期中、千代田区の観光案内所を建築祭参加者に周辺案内と建築めぐりの拠点として解放。

主催 | 一般社団法人千代田区観光協会

実施期間 | 5月16日（土）～5月24日（日）



関係者ミートアップ

東京建築祭の参加経験者を迎え、参加のきっかけから当日の工夫、開催後の反響まで、実体験に基づく事例を共有。交流会では、関係者が組織や立場を越えてつながり、新たな交流を育む機会となった。

日時 | 2026年3月5日(木) 19:00～21:00

会場 | 明治安田ギャラリー (明治安田ヴィレッジ1階)

ナビゲーター | 倉方俊輔 (東京建築祭実行委員長)

登壇者 | 熊倉茂 (明治生命館)、田畑友浩 (安井設計事務所)、菅野昭彦 (日比谷OKUROJI)、茂木完一 (東京国際フォーラム)

出席者 | 各プログラム関係者

参加者数 | 48人



キックオフイベント

建築家の内藤廣さんを迎え、基調講演と倉方俊輔とのトークセッションを開催。コンセプトスケッチや問いかけをもとに、再開発の進む東京の魅力と可能性を改めて見つめ直す、建築祭の幕開けとなった。

日時 | 2026年5月11日(月) 19:00-21:00

会場 | 渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール

ナビゲーター | 倉方俊輔 (東京建築祭実行委員長)

ゲスト | 内藤廣 (建築家)

出席者 | 協賛企業/協力企業・団体、クラウドファンディング

支援者、各プログラム関係者、メディア関係者

参加者数 | 211人



クロージングイベント

昨年に引き続き、日比谷OKUROJIでクロージングイベントを開催。事務局、ボランティアスタッフ、ガイド、参加建築の関係者が集い、熱気に満ちた9日間を振り返り、互いの尽力を労った。

日時 | 2026年5月24日(日) 18:00-21:00

会場 | 日比谷OKUROJI H05

参加者数 | 180人



03

参加者

01 参加者概要

02 参加者アンケート





公式プログラム

のべ参加者数 |

164,779 人

特別公開

来場者数 | 84,114人

特別展示

来場者数 | 74,041人

ガイドツアー・イベント（抽選プログラム）

参加者数 | 4,906人

応募者数 | 30,745人

倍率 | 6.3倍

その他イベント

参加者数 | 1,281人

連携企画

参加者数 | 14,504人

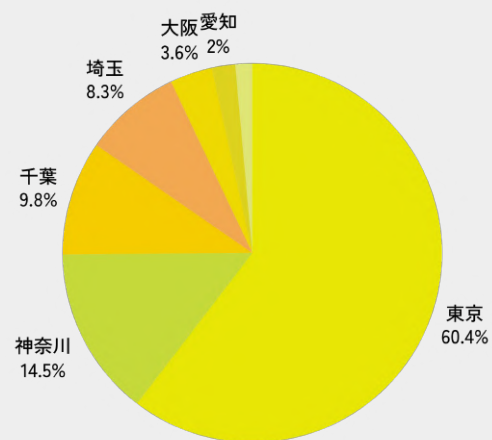
見学サポート

参加者数 | 10,345人

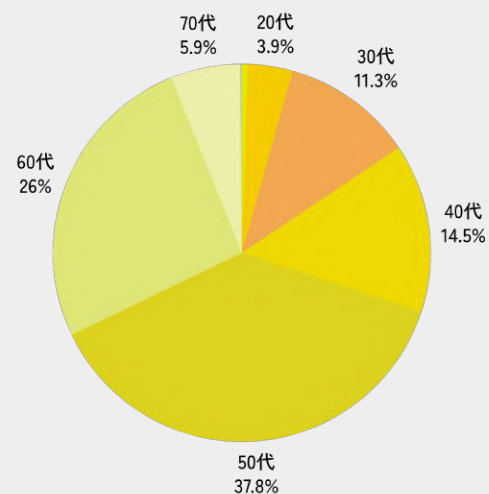
03-02 | 参加者アンケート n=622

参加者の8割以上を建築非専門家が占め、専門知識の有無を問わず建築を楽しむ機会を提供している。
 リピーターが着実に育つ一方、初参加者も約半数を占め、毎年新たな参加者を迎えながら裾野を広げている。
 首都圏からの参加割合も年々高まり、東京に建築祭の文化を定着させている。

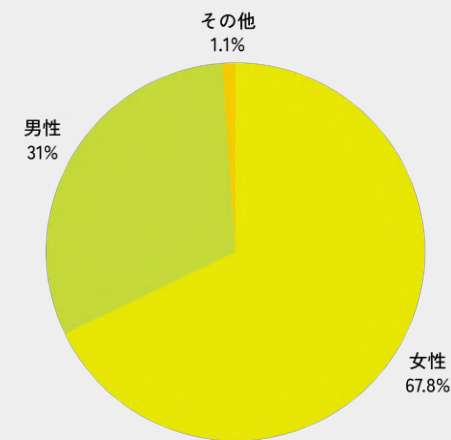
どちらからのご参加ですか？



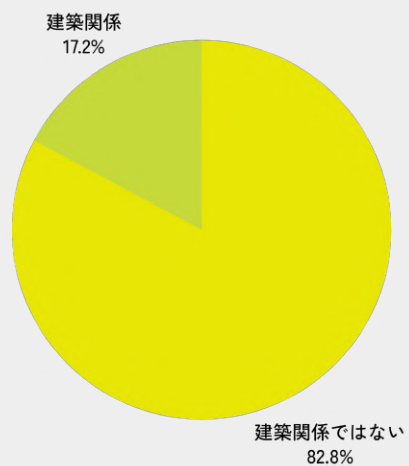
年代



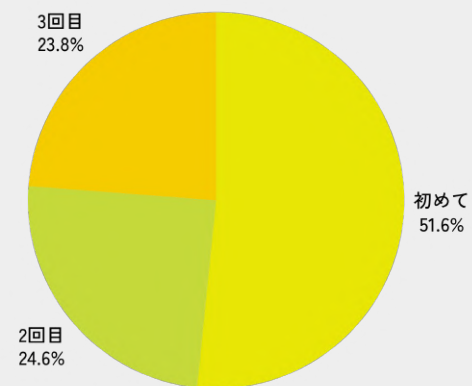
性別



職業や学業の専攻は
建築関係に関するものですか？



東京建築祭への参加は何回目ですか？

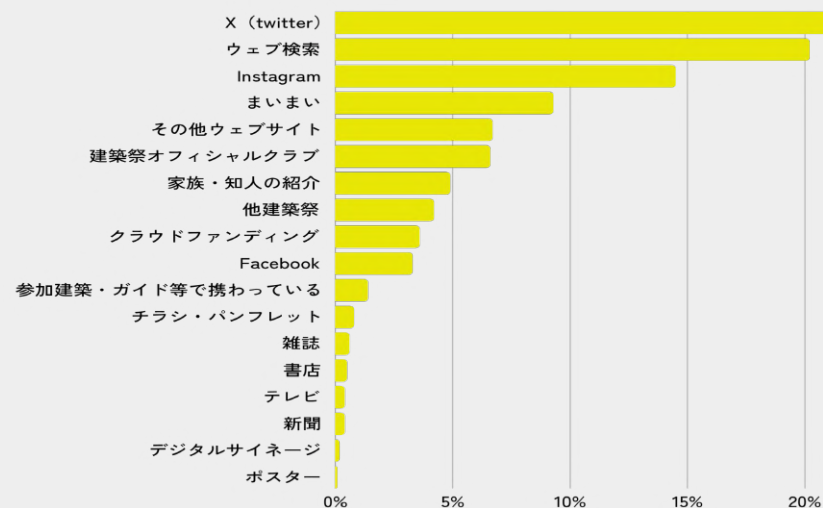


03-02 | 参加者アンケート n=622

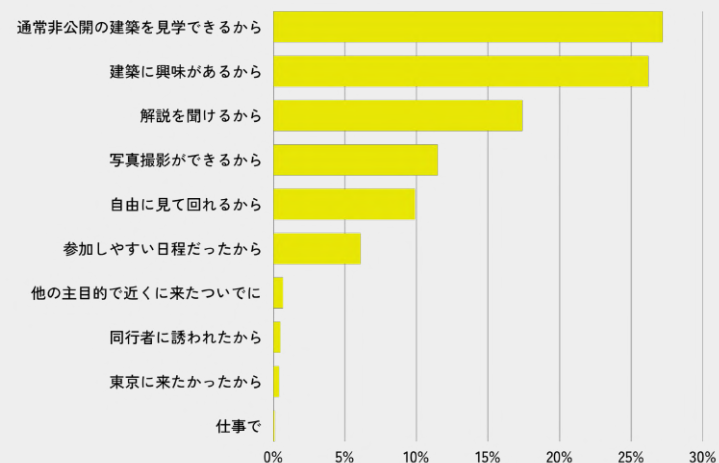
SNSやウェブ検索などオンラインで開催を知り、普段見られない建築への関心を動機に参加する人が多い。

ひとりでの参加も6割を超え、地下鉄やJR、徒歩を中心に、それぞれのペースで東京の建築を巡る参加スタイルが見えてくる。

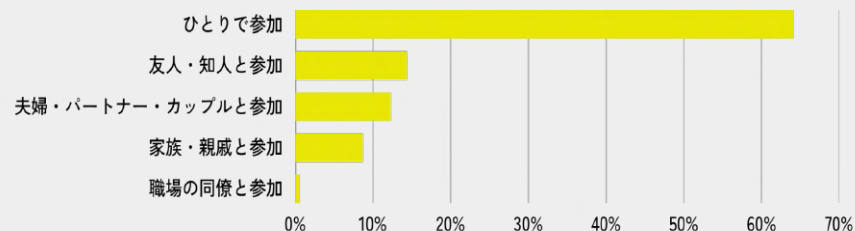
東京建築祭を何で知りましたか？（複数選択可）



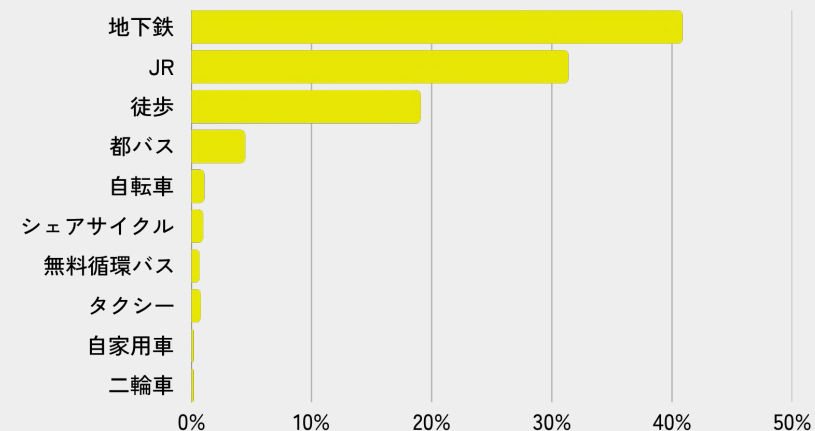
参加の動機を教えてください。（複数選択可）



同行者と参加されましたか？（複数選択可）

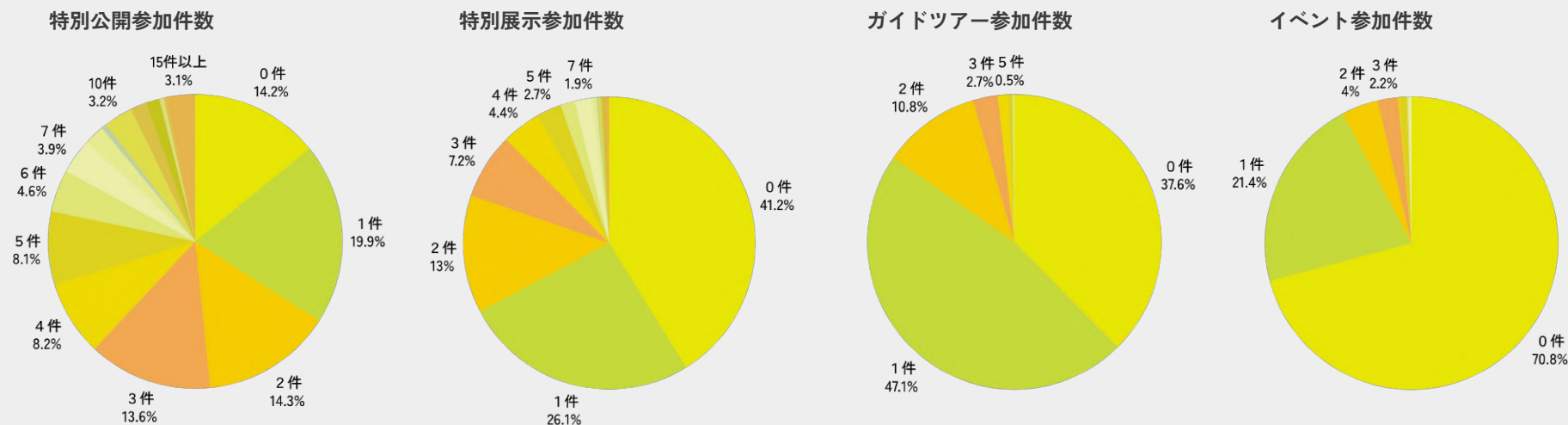


東京建築祭でよく利用した移動手段について教えてください（複数選択可）

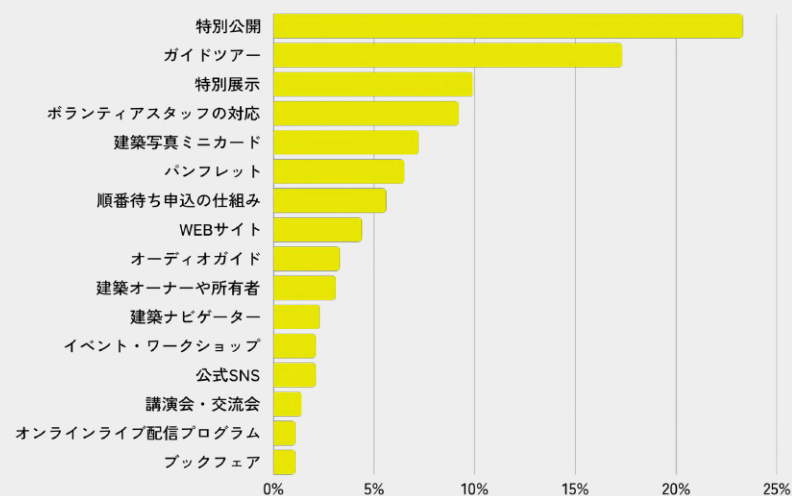


特別公開を中心に複数の建築を巡る参加者が多く、ガイドツアーなど建築を深く体験するプログラムも高く評価された。
ボランティアスタッフの対応も評価の上位に入り、今後に向けては、特別公開・ガイドツアーに加え、
イベントなど多様な体験のさらなる充実が期待されている。

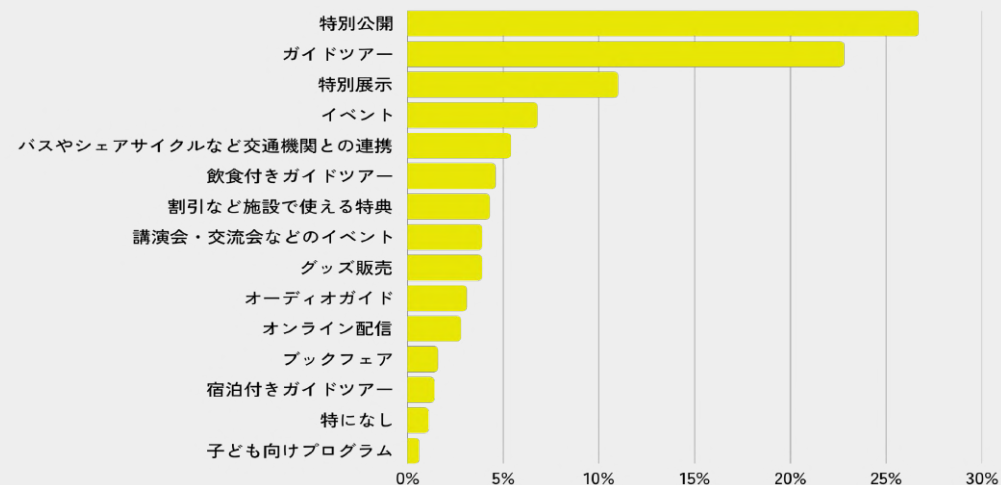
参加したプログラムの種類と件数を教えてください。



良かったと思うプログラム・企画を教えてください。（複数選択可）

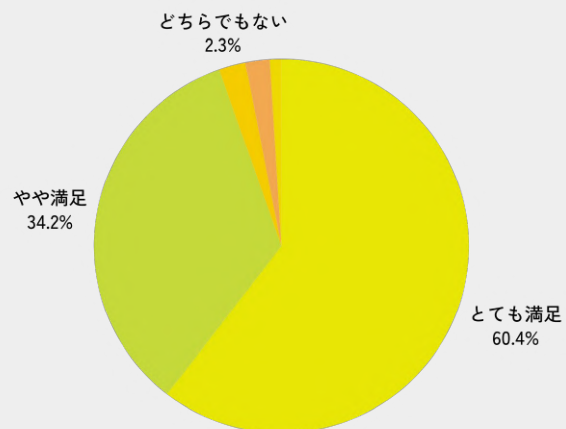


今後もっと充実してほしいプログラムを教えてください。（複数選択可）

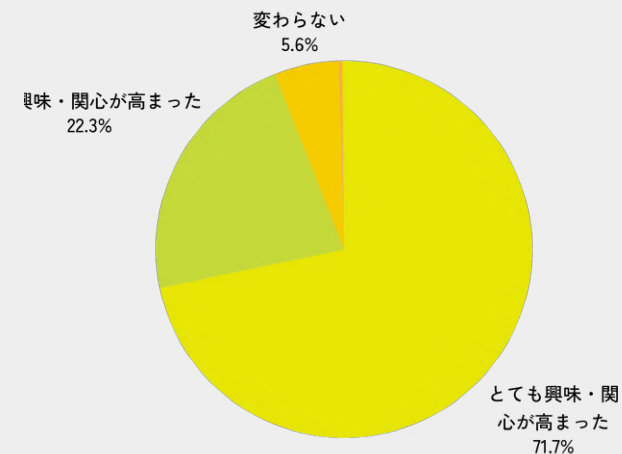


高い満足度に加え、参加を通じて建築やそこに関わる人への興味・関心が高まったという回答も9割を超えた。
友人・知人への推奨意向、次年度の参加意向も高く、建築祭での体験が新たな関心や次の参加へとつながっている。

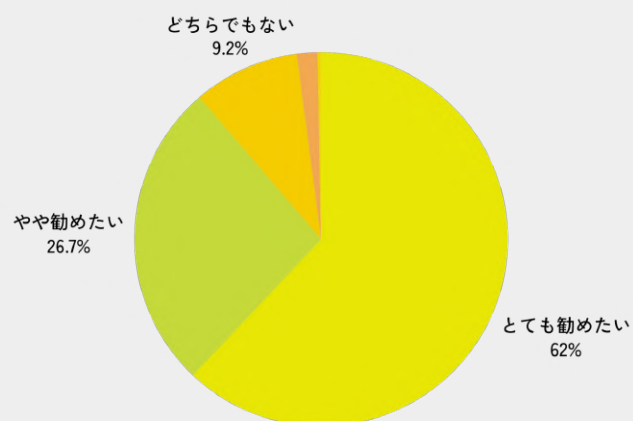
東京建築祭に参加してみていかがでしたか？



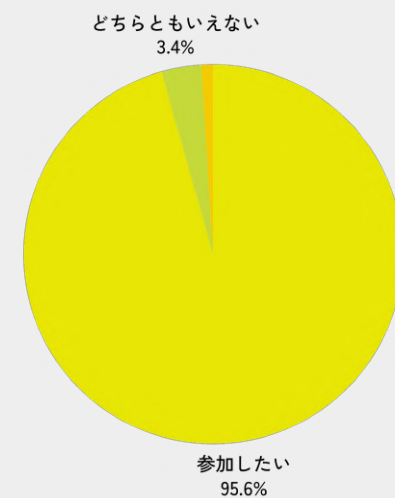
東京建築祭に参加したことで、建築や、そこに
関わるひとに対する興味・関心が高まりましたか？



東京建築祭を、友人や知人に勧めたいと思いますか？



東京建築祭2027が開催されたら参加したいと思いますか？



普段は見られない建築との出会いに加え、ガイドや設計者など、建築に関わる人から直接話を聞けることへの評価が高く、

2.1建築やまちへの理解と関心の深まりにつながっている。

一方、参加機会の拡充や混雑への対応、わかりやすい案内など、より快適な見学環境への期待も寄せられた。

今回の東京建築祭で、良かったところを教えてください。（抜粋）

- ガイドツアーが楽しかった。無料で観られる建築があること、これまで知らなかった建築をプログラムから知ることができたこと。
- 普段意識しない、デベロッパーや設計担当者の参加の方から直接話が聞けたこと。
- ガイドツアーに参加したが、とても詳しく丁寧な説明で、ますます建築に興味を湧いた。建築も街の一部なので、街の歴史と合わせて学べたことが良かった。
- 街作りに携わってる現役の方達のお話が聞けたこと。
- とても感じのよいスタッフの方々ばかりで、気持ちよく周ることができました。
- 渋谷まで範囲が拡大されたことで、上野周辺や東京周辺に限らない建築についても知ることができてよかったです。
- 普段入れない場所に入れるのがやはり良かったです。カナダ大使館は思った以上に見応えがあり、今までの建築祭と違い日本以外の特定の国の文化を強く感じられ、とても興味深かったです。
- 23区内に住んでいますが、目的がないと行かない知らない場所が多いため、建築というその場所を代表する存在をきっかけに街へ足を運べてよい経験になりました。
- 建築ナビゲーターさんが建築の歴史など解説して下さったので、建築に対する理解が深まりました。
- 各会場の説明の方が皆さん楽しそうに話して下さるのでこちらも楽しくなりました
- 特別公開の建築数が多く、どこに行くか迷うほどでした。歴史的建築物に触れるよい機会になりました。
- 既に存在している建物がどんな人たちがどういう思いでどうやって建てたのかを知る事ができて大変よかった。日頃目にしている建物に対する愛着が芽生えた。
- 初回から参加してます。徐々にエリア拡大していて、人がうまい具合に分散するようになっていと感じ、良いと思います。中でもエコー遺産は新しい体験でした。いつも目で楽しんでた建築を、体全体を使って(途中目を閉じてました！)体感。
- 見学した施設の設計に携わった方から解説していただき、とても興味深くためになった。

今回の東京建築祭で、改善できると思うところを教えてください。（自由記述）

- 今回大変だったわけではないですが、一時間のガイドツアーについて歩く距離がたまかでも申し込み前にわかるとよいなと思いました。
- 期間を長くしてほしい。
- 5時までということで4時ごろに到着されて入れない方が多くいらっしゃいました自分は前日のインスタで15:30ごろに締切ましたという情報を見ていたので間に合いましたが、わざわざ電車等で移動されてきたと思うので不憫かなと思いました。
- モデルコースやセットコースがあると回りやすい。
- 事前に紙のMapを入手したかったのですができず、小さいスマホの画面だと見づらかったです。各建築がどの程度のレア度や規模なのかが分かったと初心者にはありがたかったです。
- 展示の場所がわかりにくいところがあった。入り方のポスターのところに館内図などを掲示するという統一した表示方法があるとわかりやすいと思う。
- 混雑状況はもう少し細かくアップしてもらえると動きやすい。今回参加していない歴史ある大学、大手ゼネコン、意匠や構造が特徴的なビルなど、参加団体が増えると、徒歩移動できる圏内に多数施設がある状況となり、街歩きの面白みも付加されるのでは、と思います。
- 地下鉄で回ったのですが、最寄り駅の表示があると嬉しいです。
- 前日に急遽、整理券配布や順番待ちになってしまったところは、残念でした。また、順番待ち予約で朝7時開始で数分で無くなってしまう施設は、予約枠拡張をして欲しいです 特に人気の施設は18時ごろ迄、公開時間を伸ばして欲しいです。
- 当日の順番待ち予約が、あっという間に満杯になってしまったのが、とても残念。
- ガイドツアーの人气が高すぎてなかなか当たらないのが残念です。
- 先着順の申し込みが早々に終了して、慣れた人でないと難しいのかなと思った。
- 毎回、抽選は当たらない、順番待ちは瞬殺で参加できない。



04

参加建築

- 01 参加建築概要
- 02 参加建築一覧
- 03 関係者アンケート





参加建築 |

150件

上野・本郷・湯島	34
神田・九段	52
大手町・丸の内・有楽町	11
日本橋・京橋	23
銀座・築地	9
新橋・竹芝・芝浦	14
六本木・赤坂・青山	19
品川・三田・白金	8
渋谷	3
その他	4

参加者の高い熱量に触れ、建築やまちの魅力を再発見できたとの声が多くあった。熟練したスタッフの的確なサポートが新たな気づきにつながり、事前準備を通して身近なまちをより深く知る機会にもなった。「建築」という日本の貴重な資産に焦点を当て、多様な事業者を巻き込みながら、地域への来訪や在住・在勤者のまちへの理解を促す、一過性に終わらない社会的価値のある祭典として育てていきたいとの前向きなコメントが多く寄せられた。

朝倉彫塑館
桜縁荘（旧唐木田家住宅）
MARU。architecture
東京藝術大学 赤レンガ1号館（旧教育博物館書籍閲覧所書庫）
国立国会図書館国際子ども図書館
東京文化財研究所
東京国立博物館黒田記念館（東京文化財研究所旧本庁舎）
東京国立博物館 日本庭園 茶室（春草廬・転合庵・六窓庵・九条館）
東京国立博物館（正門プラザ・東洋館・本館・平成館・表慶館・法隆寺宝物館）
東京都美術館
旧岩崎邸庭園
東京大学 理学部2号館
2k540
マーチエキュート神田万世橋（旧万世橋駅）
御茶ノ水ソラシティ
ワテラス
安井建築設計事務所 東京事務所
日本大学 理工学部駿河台校舎1号館
JINS東京本社（安田シーケンスタワー）
岡田ビル
神田ポートビル
リクルート九段坂上KSビル
共立女子大学 共立講堂
パレスサイド・ビルディング
旧近衛師団司令部庁舎
明治生命館
東京會館
第一生命日比谷ファースト
新東京ビルヂング
旧東京中央郵便局（現JPタワー）
東京駅丸の内駅舎（東京ステーションギャラリー/東京ステーションホテル）
日本工業倶楽部会館
東京国際フォーラム
大手町ビル
東京サンケイビル

丸の内熱供給 大手町センター
Torch Tower
丸の内ビルディング
丸の内二丁目ビル
丸の内建築保存部材倉庫
三菱一号館美術館
NTT日比谷タワー
帝国ホテル本館
日比谷図書文化館
日比谷花壇日比谷公園本店
丸石ビルディング
中央区立常盤小学校
三井本館
日本橋三越本店/三越劇場
日本橋本町三井ビルディング & forest
江戸屋
華硝
戸田屋商店
日証館
KABUTO ONE
兜95（旧松よし）
兜町第5 平和ビル（旧第一銀行附属新館）
兜町第7平和ビル
ソラビル
SANGO
MIDORI.so Bakuroyokoyama
HAMACHO HOTEL
HAMACHO FUTURE LAB
HAMA HOUSE
HAMA1961
iiyu HAMACHO
TOKYO MIDORI LABO.
浜町えぐち
壺中居
ブラッスリーTOYO
日本橋
戸田建設 本社ミュージアム TODA CREATIVE LAB
“TODAtte?”
ミュージアムタワー京橋ビル
八重洲ダイビル

有楽町マリオン（有楽町センタービル）
教文館・聖書館ビル（教文館/JINS銀座店）
SEIKO HOUSE
銀座ライオンビル
銀座高木ビル
GINZA SIX
GINZA KABUKIZA
ハイアット セントリック 銀座 東京（東京銀座朝日ビルディング）
資生堂銀座ビル / Shiseido Future University
東京銀座資生堂ビル
SHISEIDO THE STORE
東京ミッドタウン日比谷
日比谷OKUROJI
旧宮脇ビル（川崎ブランドデザインビルヂング）
カトリック築地教会
井筒屋
朝日新聞東京本社
三井デザインテック株式会社本社（銀座6丁目-SQUARE）
新橋駅前ビル
ニュー新橋ビル
旧新橋停車場
堀ビル（goodoffice新橋）
港区生涯学習センター ばるーん
増上寺三解脱門
ウォーターズ竹芝
東京ポートシティ竹芝
BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S
SHIBAURA HOUSE
港区立伝統文化交流館
カナダ大使館
ノアビルディング
虎ノ門ヒルズステーションタワー（オカモトヤ）
旧乃木邸
フィンランド大使館
サントリーホール
国際文化会館
全日本海員組合本部会館
スペイン大使公邸

サニーヒルズ南青山
六本木ヒルズ
鹿島KIビル
とらや赤坂店
スパイラル
RENOVERU TOKYO（たつむら青山ビル）
メキシコ大使館
港区立郷土歴史館
慶應義塾 三田演説館
慶應義塾 図書館旧館
東京都庭園美術館
普連土学園中学校・高等学校 中学校舎
高輪ゲートウェイ駅
TAKANAWA GATEWAY CITY
MoN Takanawa: The Museum of Narratives
THE LINKPILLAR2
品川インターシティ
旧公衆衛生院（港区立郷土歴史館等複合施設）
WHAT MUSEUM 建築倉庫
品川シーズンテラス
普連土学園中学校・高等学校
渋谷区立広尾小学校
温故学会会館
國學院大學 若木タワー
ワタリウム美術館
ミナガワビレッジ
SHIBUYA CAST.
旧朝倉家住宅
原宿クエスト
ウィズ原宿
ヒルサイドテラス
デンマーク大使館
日建設東京ビル
温故創新の森 NOVARE
久米設計本社ビル
梓設計本社「HANEDA SKY CAMPUS」
ANA Blue Base
大学セミナーハウス

参加者の高い熱量や反応に触れ、自らの建築や活動の魅力を再発見したという声に加え、人やまちとの新たな接点生まれるなど、参加する側にも多様な価値が生まれた。運営面の改善に加え、建築を守り伝える側への理解を深める祭への期待も寄せられた。

今回の建築祭で良かった点があれば教えてください。（抜粋）

- 社員が色々なチャレンジができた。
- 弊社で行ったツアーについても、参加者の熱量が高く、私たち自身が建築がもつ魅力を再発見することができ、とても良い機会になりました。
- 今回ガイドツアーのガイドを担当しました。熟練のスタッフの方のサポートが的確でありがたく気づきにもなりました。事前の準備の過程で、自分自身身近なまちをより深く知ることができました。
- 多くの方が感動してくださり、開催に協力してよかったと感じました。
- 東京建築祭が、ちゃんと「建築好き」な人たちに届いているんだなと感じられた点。
- 多くの方が街並みや建築に興味をお持ちであることを感じた。その方々が建築を楽しんだことは、とても有意義であると思います。
- とても多くの方が建築祭のマップを片手に散策しているのを見かけました（23日）。お祭りとして受け入れられつつある様子を感じられてとても良かったです。
- 大変熱意のある建築ファンの方ばかりで、緊張感をもって臨むことができました
- 参加者の半数近くが当館へのご来館が初という方々で、東京建築祭が当館を知るきっかけになっていると実感できました。
- 日常の業務では接点のない方々に当研究所の存在を知ってもらうことができた。
- 設計事務所や建物管理者など直接のステークホルダーになりうる人の他に、就活の一環で来ている学生、建築に進もうか考えてる高校なども来ていたので、ブランディング活動としてもかなり意味があった。
- 参加者やスタッフと共に建築を楽しめたこと。
- ボランティアの方が皆さん協力的でいい人だった。
- 私たちは初めての参加でしたが、東京建築祭の仕組みや事務局さんの働きかけが分かりやすく、比較的スムーズに進めることができました。ありがとうございます。
- 開催当日以外に関係者のミートアップ会が開催されたことで、人脈の形成ができた。
- このうねりが今後もっと大きくなって、建築を一つの文化として日常的に楽しみ、成熟した建築文化をもつ社会になると良いと思います。

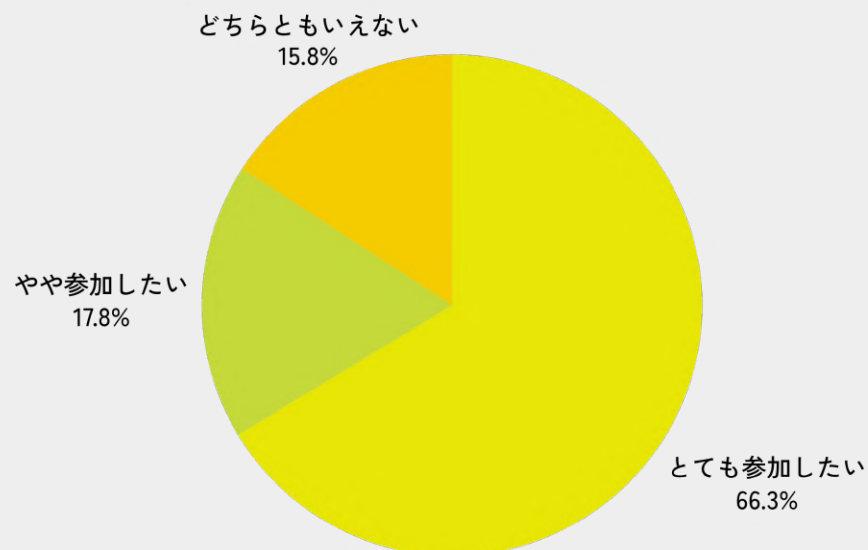
改善点・お気づきの点があれば教えてください。（抜粋）

- 特別公開では、想像以上の動員数だったので、ご来館いただいた皆さんにお待たせしてしまう時間帯があり、また混雑した状況の中での見学は満足いただけたのか不安も残りました。次回参加する場合は、待ち時間の工夫もできればと思います。
- 想定を上回る来園数だった。東京建築祭のHPだけでなく、現地から発信している情報も見えていただけたらと思います。
- せっくなので参加者みんなで告知したり広めたりしたいですね！告知にそこまで力をいれきれなかった反省があります。
- ポスターなどを申し込めば送っていただけたのに申し込み忘れてしまいました。
- 会場の案内のためにもいろいろ動線を考えなきゃいけなかったな、という、イベントになれていない参加側の盲点がありました。
- 公開建築にナビゲータが配置されていることの、来場者への広報及びスタッフへの周知徹底、腕章の確実な貸与をお願いします。
- 当館内の運営上の気づきですが、利用に手続きが必要な部屋への入室について、あらかじめご案内が出来ていたら良かったです。
- 施設によっては、可能であれば休館日にツアーを設定できると、より参加者の満足度があがると思いました。
- スタッフ及びガイドが複数人の場合、イヤフォンが行き渡るとありがたい。
- イヤホンの不良品があり、ボランティアの分を参加者に利用してもらいました。事前の点検と余裕のある数量確保を来年度はお願いします。
- ガイドツアーの際の私有地立ち入りに関するスタッフさんとの意識の共有が必要。
- 雨天時の対応について事前打ち合わせが必要。
- 「古い建物を見るのが好き」という人たちの欲求を満たすだけで終わらないよう「残す」ことに共に協力したり、残している人を評価するなど、皆が「残す」ことの価値を理解し、その価値の向上に寄与するイベントにしなければならないと思います。古い建物を維持管理している側への敬意を高めるべきだと思います。そういった意味でのリテラシー向上がこのイベントの継続の肝になると感じています。

04-03 | 関係者アンケート n=84

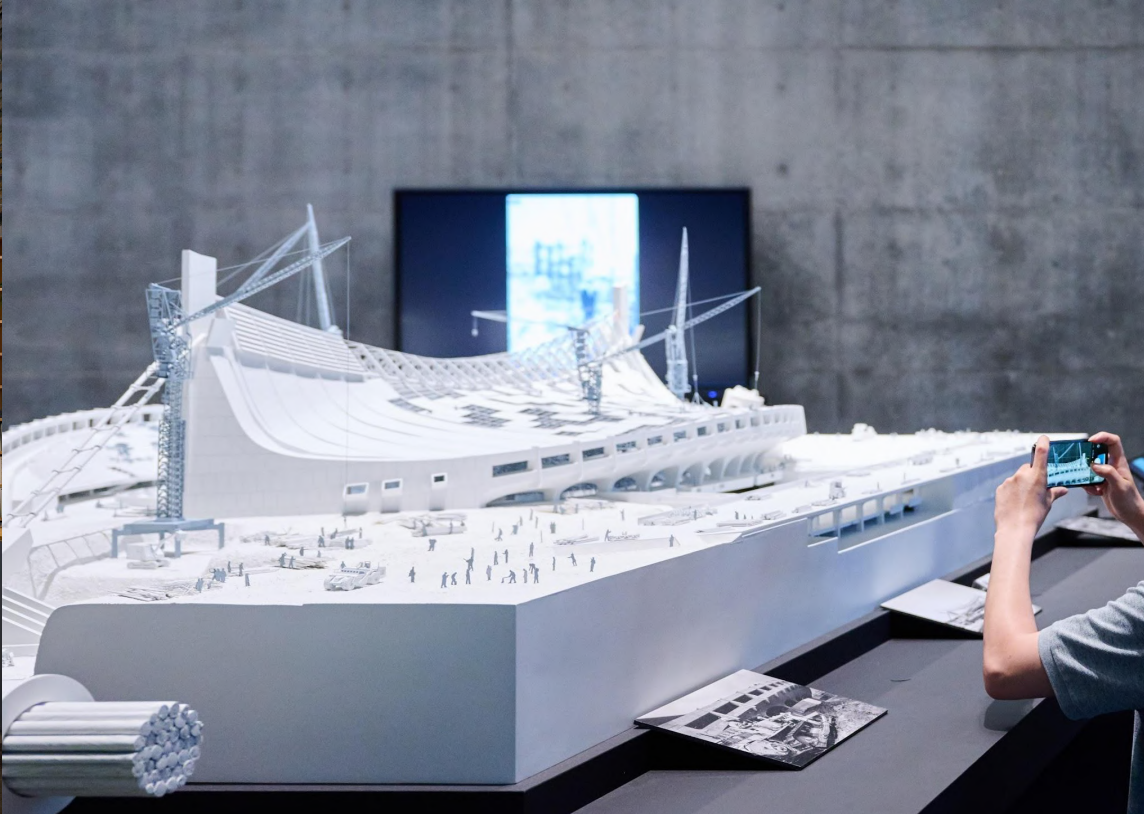
8割を超える関係者が次年度への参加意向を示した。来場者に建築や活動の魅力を伝え、その反応を直接得られることに加えて、社員への刺激や新たなつながり、認知・ブランディング、社会貢献など、さまざまな手応えが継続への意欲につながっている。

2027年の東京建築祭について、現時点での参加・協力意向をお聞かせください。



2027参加意向の理由をお聞かせください。（抜粋）

- 建築が好きな方々に建築の良さを紹介でき、質問や生の声を訊くことができるため。
- お客様の興味関心事が知れるので、とても良い機会になります。何より、楽しい！
- 社員にとっても良い刺激の場となったと思うので、毎年参加したい。
- 来年も来館したい！との多くの声を聞いたので。
- お客様に喜んでいただける機会であると同時に、当社としても何らかの社会貢献につながる取り組みとして、参加出来たらよいと考えております。
- 東京の残すべき景色を「残す」ことにつながるのであれば参加したい。
- イベントの企画運営自体達成感もあり、楽しかった。
- 進化させてみたいアイデアが既にあるため、実行できればと考えています。
- 屋外を案内するガイドツアーも満員で、天候が悪かったにもかかわらず好評だったこと。
- 思いもよらず身近にいた人たちが建築に興味がある人たちだったことに気づいたりで、良いご縁ができたため。
- 喜んでいただけた実感が大きく、達成感が大きかった一方、店舗営業への影響や負担が想像以上に大きかった。
- 弊社を知ってもらえるいい機会で、リクルートにも多少なりと繋がるのと思った。
- 一般の方に来場頂くことで、会社としてもブランディングにつながると感じたため。
- 例年の同時期と比べ2倍に迫る方が来館し、通常時よりも館内のいろいろな場所を見学していただくことができ、東京建築祭の訴求力を実感しました。
- 当社の技術力を知ってもらうことはもちろんブランディング活動やその他、会社としてプラスになるようなイベントであったため。



05

ボランティアスタッフ

- 01 ボランティアスタッフ概要
- 02 ボランティアスタッフアンケート





ボランティア稼働数 |

1,297人

募集期間 | 2026年2月11日(水)ー3月31日(月)

オンライン説明会 | 2月20日(金)、3月2日(月)

応募人数 | 1,821人

実働人数 | 501人

自らの意思で社会的意義のある活動を実践する「ボランティア」の考え方を大切に、主体的に運営を支えるスタッフ組織。3年目を迎え、スタッフ同士の連携が深まり、自ら動き、よりよい運営を考えるなど、積極的な姿勢が根づきつつある。参加建築と協力しながら、建築祭をともにつくる担い手の輪が育っている。

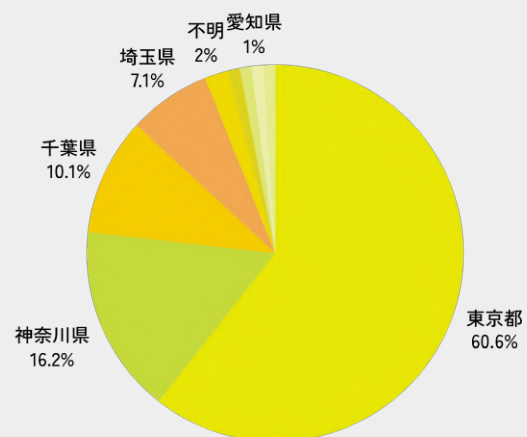


05-02 | ボランティアスタッフ 参加者概要 n=694

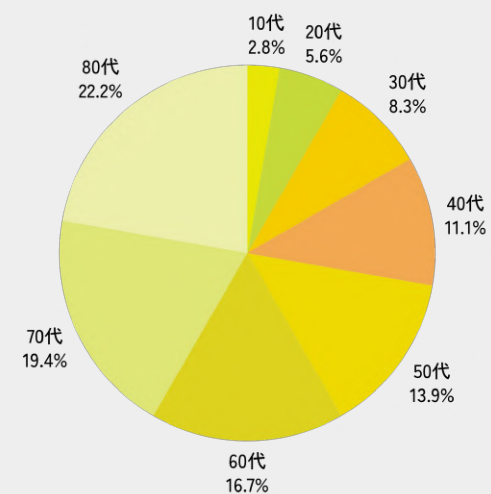
幅広い世代から応募があり、学生から社会人、定年退職後の人まで、多様な人が参加を希望。

学生の募集にも力を入れており、応募者の約2割を学生が占めるなど、若い世代を含め、建築祭を支える担い手の裾野が広がっている。

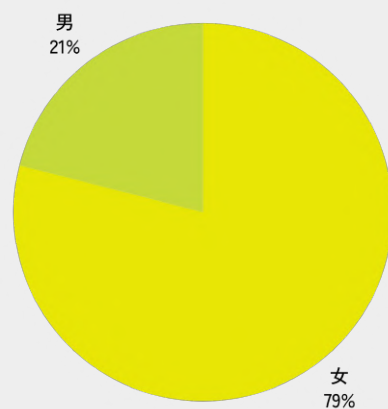
居住地



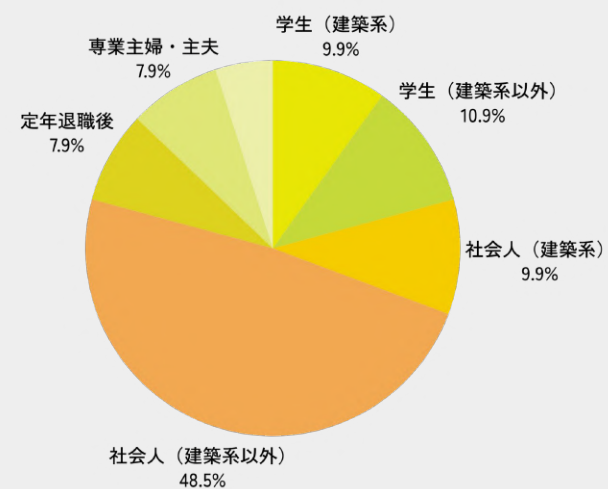
年代



性別

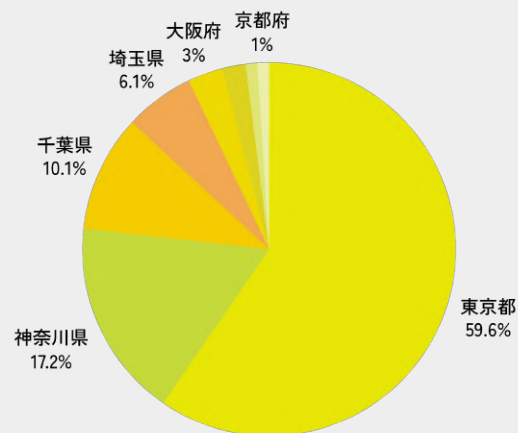


職業

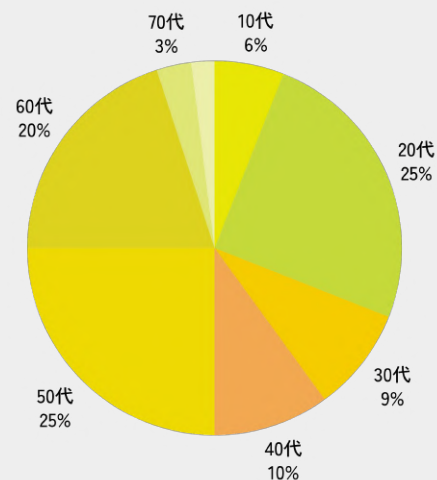


実働スタッフでは学生の割合がさらに高まり、リーダーを務めるなど運営の担い手として活躍。
経験豊富なスタッフとの世代を越えた交流も生まれ、経験を共有し、受け継ぐ場となった。
初参加者が約8割を占める一方、9割以上が次年度への参加意向を示している。

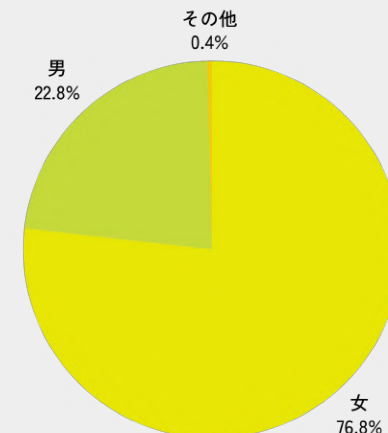
居住地



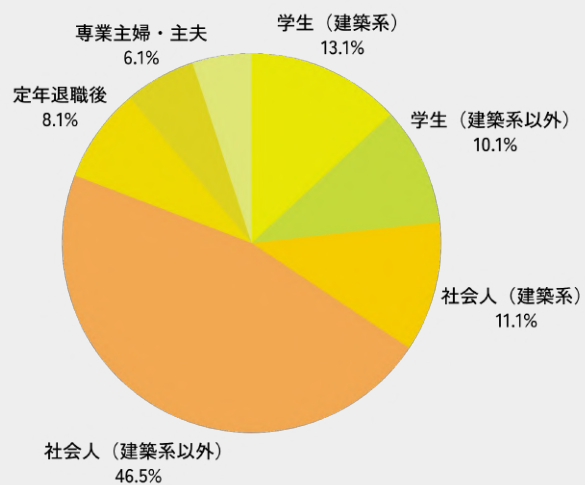
年代



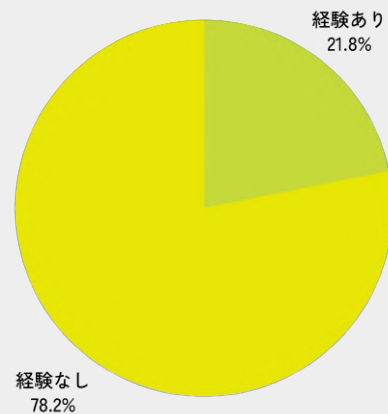
性別



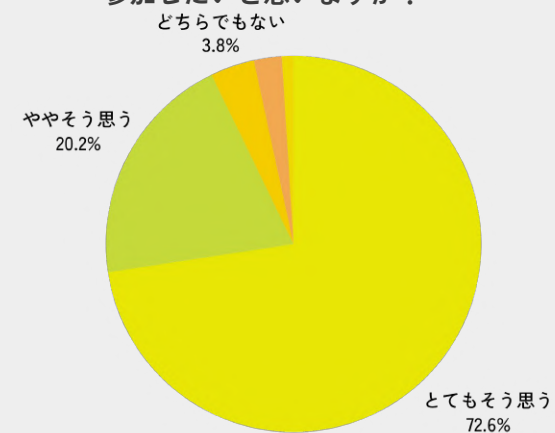
職業



東京建築祭のスタッフ経験の有無



来年もボランティアスタッフとして参加したいと思いますか？



運営を支える側として関わることで、建築やそこに関わる人への理解や愛着が深まり、参加者やスタッフとの交流にも喜びを感じたという声が寄せられた。また、現場での経験をもとに、よりよい運営へ向けた具体的な提案も多く、自ら考え、建築祭をともにつくるスタッフの主体性が表れている。

参加してよかった点があれば教えてください。（抜粋）

- 建築祭を巡ってくださっている方はもちろん、偶然立ち寄ってくださった方が楽しんでいる姿を見て、建築の公共性や、東京建築祭が東京のイベントとして浸透していく様を感じ、嬉しく思いました。
- お手伝いさせていただいたツアーはどちらも大変充実していて、ガイドさんも参加者さんも皆さまとても楽しんでいっしやり、本当にこちらまで嬉しくなりました！とても楽しかったです！！
- 参加者の方と一緒に素晴らし建築を間近で楽しむことができ、さらにありがとう！の言葉もいただけてとても嬉しかったです。
- イベントを支える側として参加する経験ができたことが最もよかったが、来場者の方と建築について話す機会があったのもよかったと思います。
- いろいろな職種の人が建築を広めたい、役に立ちたいと集っているのを感じた。
- 苦労も知れたので見る側参加の時の心構えが変わった。
- 担当した施設に、とても愛着がわきました。来年もぜひ参加したいです。
- 見学だけでは分からない建物に関わる人たちの思いをより知ることができた。
- 改めて東京の建築の素晴らしさを知りました。ボランティアだから見たり聞いたり出来た事がいくつもあった。
- 建築業界の熱を直接感じる事ができた。
- 自分が働いている企業と関連のある会社を担当させていただき、自分の会社についての勉強になった。
- 昨年まで見学する側でしたが、今回初めてスタッフをさせて頂いて、開催まで、そして当日、様々な準備とみなさんのご尽力があって開催されていることを実感しました。
- 建築マニアの方と親しくなれたこと。
- 東京建築祭を作り上げていくスタッフとして参加できた事が、とても嬉しく感じました。リーダーの方々やボランティアの方々も良い方ばかりで初参加が良い思い出になりました。

その他、気になった点があれば教えてください。（抜粋）

- 外を歩くガイドツアー中にもお願いしても参加者がばらけてしまいました。参加者とわかる、シールのようなものを貼るといいかもしれません。
- 参加者が車道に広がって歩くため、車通りがある場合は危険かなと思いました。公道を歩くツアーでの安全対策をもう少し詳しく知りたかった。
- お天気が悪すぎたので早めに来られた方が日向からの避難場所がありませんでした。
- 風が強かったせいか、途中ガイドさんの声が途切れ途切れでしまい残念でした。
- 何人もの方から「紙のパンフレットはないのですか？」と聞かれました。また、「今日、ほかに見ることができる建築はありますか？」という質問も聞かれたので、事前に近隣での特別公開などを把握しておけばよかったと思いました。
- スケジュール調整が発生しにくいよう、ボランティア申し込みからの日程確定が早いと助かります。
- 思っていたよりも参加者とのコミュニケーションが必要で、接客等が苦手な自分にはかなり努力が必要だった。ボランティアの人たちがどのような様子で活動しているのか、どのような人がボランティアに向いているか事前に知れるともう少し考えてからボランティアに申し込めた。
- 事前にもう少し担当施設のことを学んでおくべきだった。個人で学ぶことも必要だが、ボランティアメンバーによってバラツキがあるとまずいので、事前にマニュアルと共に共有されると良いと思った。
- 道を尋ねる方が多かったため、会場の周辺地図の用意も必要に感じました。
- お断りしたボランティアもいるとおっしゃってましたが、応援シフトでどこでも行ける人を確保しておくべきだと感じました。
- ツアー2人体制だと欠員が出た時やトラブル時など目が足りないのでは、3人体制だとありがたいと思いました。
- 当日欠員が発生してシフト表があまり機能しなかった。組み直しが数回発生した。
- 事務局の混乱がリーダーの混乱ひいては現場に、と言う感じを受けます。事務局を充実させて無理のない運営をすべきだと思います。



06

広報

- 01 パンフレット / ポスター
- 02 公式サイト
- 03 公式SNS
- 04 パブリシティ概要
- 05 WEBメディア掲載
- 06 その他メディア掲載





パンフレット

サイズ | A5 (A2マップ折)

印刷部数 | 80,000部

配布場所 | 特別公開・特別展示建築、
ブックフェア各書店、無料巡回バス車内 等

ポスター

サイズ | A1、A2、A3

印刷部数 | 228部

配布場所 | 特別公開・特別展示建築、
ブックフェア各書店 等

参加建築に共通ポスターを掲出し、開催期間中の目印として活用。パンフレットを手に建築を巡る人々の姿もまちなかに広がり、東京に建築祭の風景を生み出した。参加者同士に緩やかな連帯感を生み、時には交流のきっかけとなるなど、祭りをともに楽しむ空気をまちに広げる役割も果たした。



06-02 | 公式サイト

公式サイト |

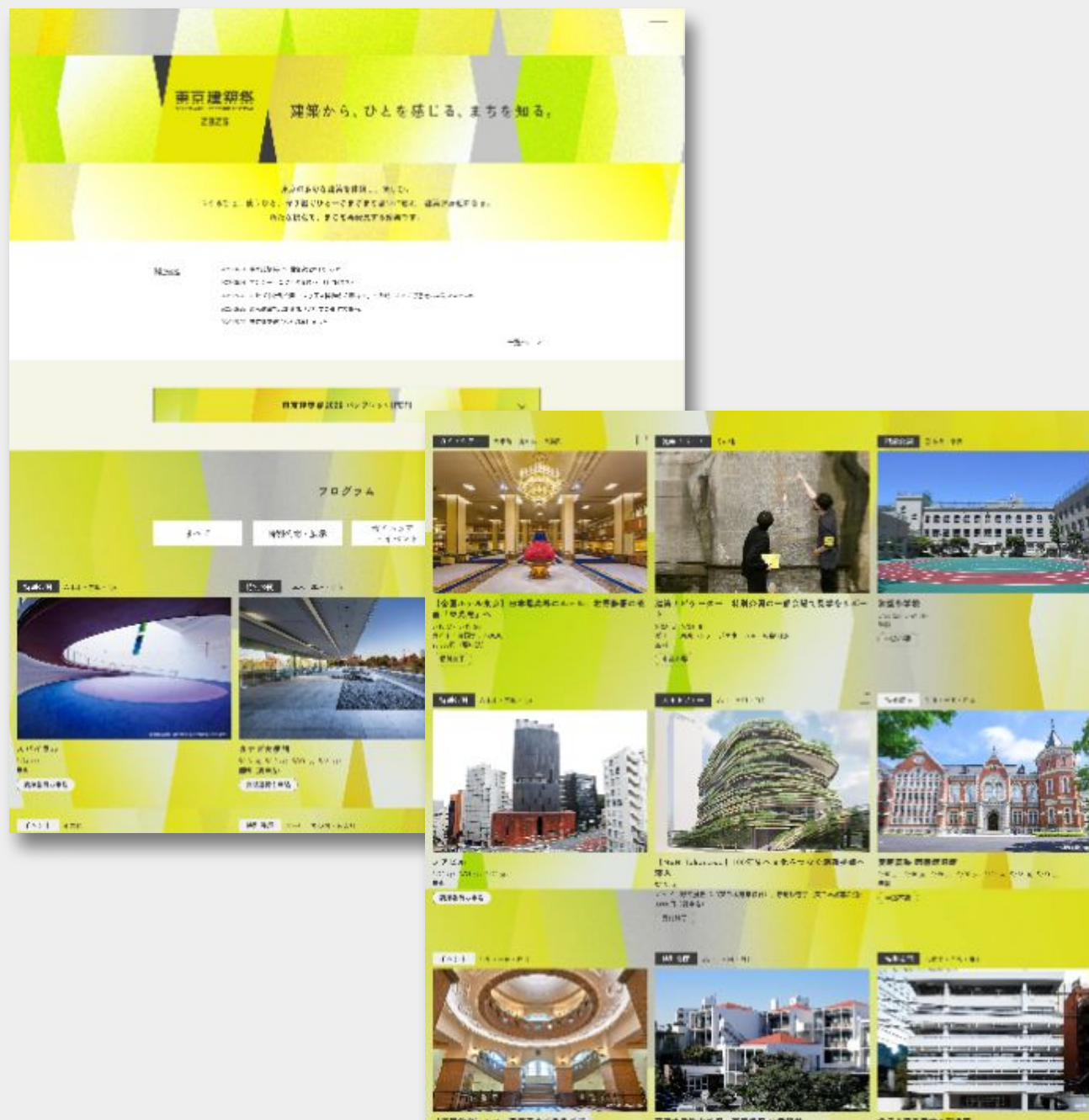
<https://2026.kenchikusai.tokyo/>

ページビュー数 | 6,395,945 PV

ユーザー数 | 437,368人

※2025/08/01-2026/07/31

参加建築やツアー、イベント、開催情報を集約し、東京建築祭の情報発信を支える公式サイト。開催規模の拡大とともにアクセスも大幅に伸び、会期前の情報収集から当日の建築巡りまで、多くの参加者を支える情報基盤として活用された。アクセス集中に備えたサーバー増強など、安定した情報提供のための環境整備も行った。





公式 X | @tokyokenchiku

Xインプレッション数 | 448万回

Xフォロワー数 | 14,781人

公式 Instagram | @tokyokenchikusai

Instagramインプレッション数 | 370万回

Instagramフォロワー数 | 23,547人

※2025/08/01-2026/07/31

最新のプログラム情報や当日の混雑状況、受付・整理券情報などをリアルタイムで発信。参加建築や協賛企業、各種メディアとの相互拡散を通じて情報の到達範囲を広げるとともに、来場者から寄せられる反応や現地の声を共有する場としても機能した。東京建築祭を支える多様な人々をつなぐコミュニケーションツールとして活用され、迅速で丁寧な情報発信は高い評価を得た。

プレスリリース | 3回

外部メディア掲載数 |

118件

WEBメディア | 107件

新聞・雑誌 | 4件

テレビ・ラジオ | 3件

YouTube | 4件

参加建築や協賛企業による自主的なプレスリリースやニュース発信も広がり、オンライン、雑誌、新聞など100以上の媒体で紹介された。テレビやラジオなどによる取材・報道も、幅広い層への認知拡大を後押し。東京建築祭への参加をきっかけに、それぞれの建築や活動の価値を自ら社会へ発信する動きも増え、広報の広がりや厚みが生まれた。



WEBメディア | 107件

2025/09/09	オープンカンダ	2026/04/10	北海道新聞	2026/05/03	GQ hongkong	2026/05/17	BUNGANET
2025/09/12	オープンカンダ	2026/04/10	AFPBB News	2026/05/06	Discover Japan	2026/05/18	ほぼ日刊イトイ新聞
2025/09/16	エルデコ	2026/04/13	KENCHIKU	2026/05/07	ELLE	2026/05/18	日本橋経済新聞
2025/10/07	ほぼ日の学校	2026/04/13	MICE TIMES ONLINE	2026/05/08	ほぼ日刊イトイ新聞	2026/05/18	PRTIMES
2025/12/13	読売新聞	2026/04/14	渋アート	2026/05/09	ほぼ日刊イトイ新聞	2026/05/18	みんなの経済新聞
2026/02/03	BUNGANET	2026/04/14	時事ドットコムニュース	2026/05/10	ほぼ日刊イトイ新聞	2026/05/18	ブレーン
2026/02/05	ELLE	2026/04/14	livedoor NEWS	2026/05/10	BUNGANET	2026/05/18	MANTAN WEB
2026/02/08	Yahoo!ニュース	2026/04/14	ニコニコニュース	2026/05/11	ほぼ日刊イトイ新聞	2026/05/19	Tokyo Weekender
2026/02/11	TECTURE MAG	2026/04/14	NIKKEI COMPASS	2026/05/12	ほぼ日刊イトイ新聞	2026/05/19	みんなの経済新聞
2026/02/12	ADFwebmagazine	2026/04/16	NEWSCAST	2026/05/12	artscape	2026/05/19	BRUDER
2026/02/20	ELLE	2026/04/16	ITmedia エグゼクティブ	2026/05/13	ほぼ日刊イトイ新聞	2026/05/19	江東経済新聞
2026/02/21	神戸新聞NEXT	2026/04/16	NIKKEI COMPASS	2026/05/13	ELLE	2026/05/20	美術展ナビ
2026/03/01	BUNGANET	2026/04/16	livedoor NEWS	2026/05/13	ELLE	2026/05/20	BUNGANET
2026/03/08	建築のトビラ	2026/04/16	ニコニコニュース	2026/05/13	artscape	2026/05/20	ELLE
2026/03/27	BUNGANET	2026/04/17	ADFwebmagazine	2026/05/14	ほぼ日刊イトイ新聞	2026/05/21	GQ JAPAN
2026/03/31	美術展ナビ	2026/04/17	Pouch	2026/05/14	日経クロステック	2026/05/21	GQ JAPAN
2026/03/31	ELLE	2026/04/18	MOT TIMES	2026/05/14	美術展ナビ	2026/05/21	BUILT
2026/03/31	ADFwebmagazine	2026/04/18	Yahoo!ニュース	2026/05/14	MiLK MAGAZINE	2026/05/22	毎日新聞
2026/04/01	新建ハウジングDIGITAL.	2026/04/19	Casa BRUTUS	2026/05/15	ほぼ日刊イトイ新聞	2026/05/22	朝日新聞
2026/04/02	BUNGANET	2026/04/22	建設通信新聞DIGITAL	2026/05/15	ELLE	2026/05/22	美術展ナビ
2026/04/05	ELLE	2026/04/24	BUNGANET	2026/05/15	Secret Tokyo	2026/05/22	建設工業新聞
2026/04/06	エリマねこ	2026/04/28	Tokyo Art Beat	2026/05/15	ELLE	2026/05/22	朝日新聞デジタル マガジン[and]
2026/04/07	FASHION PRESS	2026/04/28	CO TORIP	2026/05/15	るるぶ&more.	2026/05/23	中央区観光協会特派員ブログ
2026/04/07	GQ Japan	2026/04/30	NEWSCAST	2026/05/16	ほぼ日刊イトイ新聞	2026/05/25	BUNGANET
2026/04/08	TlmeOut	2026/04/30	Press 25th	2026/05/16	産経新聞	2026/05/29	建設工業新聞
2026/04/09	TECTURE MAG	2026/04/30	woman excite	2026/05/16	TlmeOut	2026/06/11	大学プレスセンター
2026/04/09	Tokyo Art Beat	2026/05/01	TECTURE MAG	2026/05/17	ほぼ日刊イトイ新聞		

06-04 | WEBメディア掲載（抜粋）



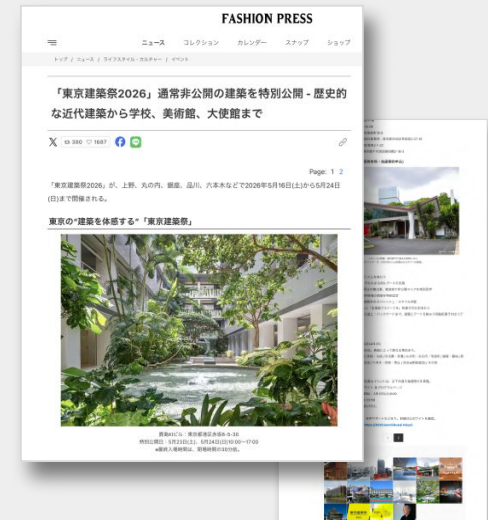
2025/11/12 美術展ナビ



2025/12/13 読売新聞オンライン



2026/03/31 ADFwebmagazine



2026/04/07 FASHION PRESS



2026/04/07 GQ Japan



2026/04/08 TlmeOut



2026/04/09 Tokyo Art Beat



2026/04/13 MICE TIMES ONLINE

06-04 | WEBメディア掲載（抜粋）



2026/04/14 渋谷アート



2026/04/17 Pouch



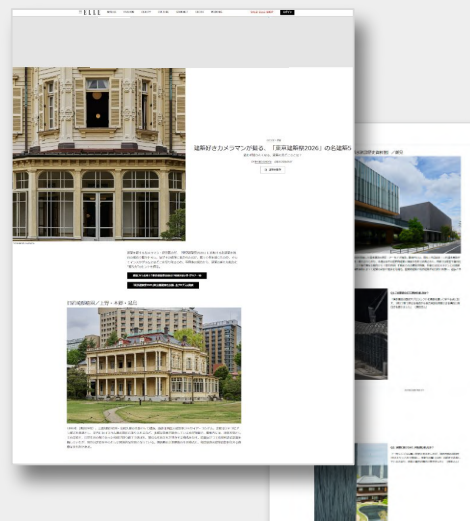
2026/04/19 Casa BRUTUS



2026/05/01 TECTURE MAG



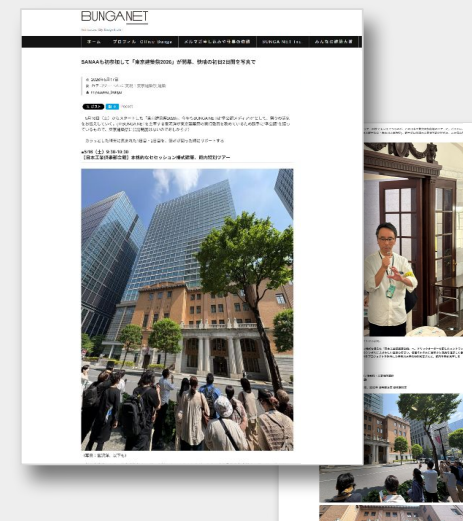
2026/05/06 Discover Japan



2026/05/07 ELLE



2026/05/08 ほぼ日刊イトイ新聞



2026/05/17 BUNGANET

新聞・雑誌 | 4件

- 2026/02/03 Discover Japan
- 2026/05/01 積算資料
- 2026/05/28 三友新聞
- 2026/05/29 建設工業新聞

テレビ・ラジオ | 3件

- 2026/05/13 J-WAVE
TOKYO MORNING RADIO
- 2026/05/20 テレビ朝日
グッド！モーニング
- 2026/05/24 日本テレビ
シューイチ

その他（動画） | 3件

- 2026/04/10 けんちくチャンネル
- 2026/04/15 けんちくチャンネル
- 2026/04/16 けんちくチャンネル

物語 知ることで見慣れた風景が新しく

建築

東京建築祭 過去最多151件参加

「建築から、ひとを感じる、まちを知る」を理念に、今年で3回目を迎えた建築祭イベント「東京建築祭2026」が開催された。9月24日の9日間（メインイベントは23、24日）に超過151件のプログラムを開催。新たに庶民エリアが加わり、過去最多の151件の建築が参加した。普段非公開の建築や場所、大学、大学キャンパスなどを回り、東京のまちと建築の多彩な姿と能力を存分に体感してもらった。

東京建築祭 過去最多151件参加

「建築祭」は、建築から、ひとを感じる、まちを知るを理念に、今年で3回目を迎えた建築祭イベント「東京建築祭2026」が開催された。9月24日の9日間（メインイベントは23、24日）に超過151件のプログラムを開催。新たに庶民エリアが加わり、過去最多の151件の建築が参加した。普段非公開の建築や場所、大学、大学キャンパスなどを回り、東京のまちと建築の多彩な姿と能力を存分に体感してもらった。

2026/05/29 建設工業新聞

東京建築祭で限定公開
綱町三井倶楽部と三井系施設も

都内の歴史的建築物など、期間限定で公開する「東京建築祭2026」は、今年で最多となる151件参加。三井系施設などが公開され、注目を集めた。

綱町三井倶楽部

本館の2階には「日本間」も

綱町三井倶楽部

本館の2階には「日本間」も

2026/05/28 三友新聞

東京建築祭2026
～今年は渋谷エリアに拡大し、大使館やオフィスなど多彩な建築を公開～

東京建築祭 実行委員長 大田区長 倉方俊輔

5月16日（土）から24日（日）まで、「東京建築祭2026」を開催します。東京のさまざまな建築を公開し、建築をきっかけにまちの魅力を再発見。日本最大の建築祭の開催です。普段は入ることのできない建築の公開や専門家によるガイドツアー、トークイベントなどを通して、建築を身近に感じてもらい、建築を応援していきます。2回目の開催となった今年は、延べ11万人の方に参加いただきました。

今年は開催エリアをさらに広げ、上野・湯島・本郷・神田・九段・日本橋・京橋・大手町・丸の内・有明町・銀座・麹町・新橋・竹芝・芝罘・品川・三軒・白金・六本木・赤坂・青山に加え、新たに渋谷エリアでもプログラムを展開します。

建築をより深く知ることができる「ガイドツアー」では、設計者や建築家、施設関係者などが案内役となり、建築の背景や設計の経緯、歴史やまちとの関係などを解説します。普段は入ることのできない場所を巡るコースもあり、建築をより立体的に知ることができます（有料・要申込）。このほか、建築を身近に感じてもらえる「体験型ツアー」や、専門家によるトークセッション、建築の空間を自由に楽しむエコー遊覧やペーパークラフトなど、多彩なイベントも予定しています。

東京建築祭は、できる限り無料で建築の魅力を感じてもらうことを目指しています。継続開催を支える取り組みとしてクラウドファンディングも実施しており、会期終了後6月1日（月）まで目標の予定です。毎年新設の建築家スタジオや、今年も「トート・ポット」は、約100名の方に体験を募集させていただきます。そのほか、貴重な建築を巡る特別見学会やオリジナル手ぬいなどの商品も用意しています。ぜひ、温かいご支援をいただけますようお願いいたします。

東京建築祭クラウドファンディングサイト・モーションギャラリー <https://motion-gallery.net/projects/tokyokenchusai2026>

昨年参加された方も、初めての方も、この機会に東京の建築を巡る体験を楽しんでみませんか。詳しいプログラムや参加方法は、東京建築祭の公式サイトをご覧ください。

<https://tokyo-kenchusai.jp>

東京建築祭2026
会期：2026年5月16日（土）～24日（日）

2026/05/01 積算資料

東京が建築で
盛り上がる9日間！
東京建築祭が今年も開催！

東京建築祭2026

東京建築祭2026

東京建築祭2026

2026/02/03 Discover Japan

8:07

今多くが特別公開中！東京の名建築巡り

吸塵バルブ

アメリカ製バキュームポンプを採用
吸塵バルブにホースをつなぎ ゴミは地下の収集所へ

2026/05/24 日本テレビ シューイチ

2026/05/24 日本テレビ シューイチ

東京建築祭 大規模街歩きイベント

参加建築数 151件

2026

東京建築祭

2026/05/20 テレビ朝日 グッド！モーニング

推し建築② 港区郷土歴史館

港区郷土歴史館

そこでの滞在することで
視点や視線が変わったり

けんちくチャンネル

2026/04/10 けんちくチャンネル



07

クラウドファンディング

01 クラウドファンディング概要

02 クラウドファンディング返礼





モーションギャラリー |

<https://motion-gallery.net/projects/tokyokenchikusai2026>

支援者数 |

396人

支援額 |

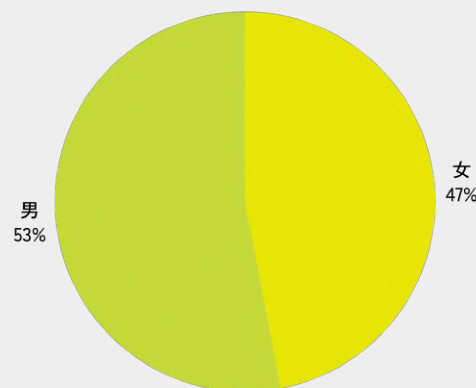
8,240,700円

開催期間 | 2026年2月11日(水)ー6月1日(月)

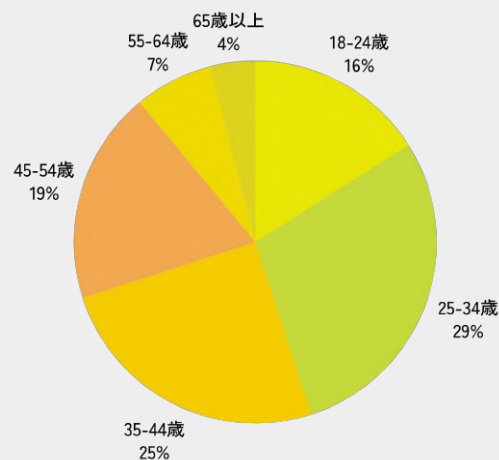
目標額 | 6,000,000円 (達成率137%)

サイト訪問者数 | 39,640人

ページ訪問者属性 (性別)



ページ訪問者属性 (年齢層)



目標額600万円に対して137%を達成。開始初日には目標額の約60%にあたる支援が集まり、会期前から高い関心と期待が寄せられた。メッセージのやりとりを通して支援者との交流も生まれ、建築祭とともに支え、つくるコミュニケーションの場としても機能。「皆でつくる建築祭」の輪の広がりを実感する取り組みとなった。

07-02 | クラウドファンディング返礼



キックオフイベントご招待

ナビゲーター | 倉方俊輔（東京建築祭実行委員長）
 ゲスト | 内藤廣（建築家）
 支援者数 | 50人



特別書籍「ガウディ：未来をひらく窓」 （日本輸入部数限定）

協力 | YKK AP
 支援者数 | 32人



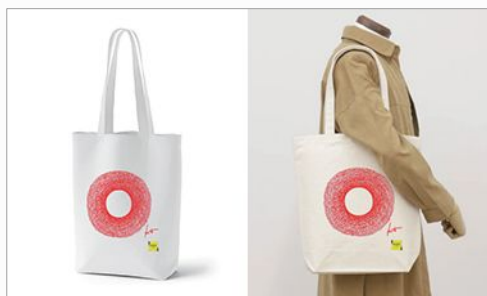
東京建築祭主催プログラム どれでも1つ優先当選権

支援者数 | 20人



東京建築祭2026 応援手ぬぐい

スケッチ | 宮沢洋（画文家）
 協力 | 梨園染 戸田屋商店 支援者数 | 40人



東京建築祭2026応援トートバッグ

スケッチ | 内藤廣（建築家） 支援者数 | 21人



東京建築祭応援トートバッグ コレクションセット

スケッチ | 藤本壮介（建築家）、伊東豊雄（建築家）、内藤廣（建築家） 支援者数 | 8人



東京建築祭2026応援セット （トートバッグ+手ぬぐい）

スケッチ | 内藤廣（建築家）
 協力 | 梨園染 戸田屋商店 支援者数 | 20人



日本工業倶楽部会館 特別見学会

ガイド | 須藤啓（三菱地所設計）、野村和宣（神奈川大学）
 協力 | 日本工業倶楽部 支援者数 | 40人



綱町三井倶楽部 特別見学会

ガイド | 藤木竜也（千葉工業大学）
 協力 | 綱町三井倶楽部 支援者数 | 52人



資生堂アートハウス 特別見学会

ガイド | 資生堂アートハウス学芸員、倉方俊輔（建築史家、東京建築祭実行委員長）
 協力 | 資生堂 支援者数 | 46人



土浦亀城邸（ポーラ青山ビルディング） 特別見学会

ガイド | 山崎鯛介・長沼 徹（東京科学大学）
 協力 | ピーオーリアルエステート 支援者数 | 14人



08

協賛パートナー

01 協賛パートナー 概要



38社

3年目を迎えた今年は、38社のパートナー企業から協賛をいただき、東京建築祭の開催を力強く支えていただいた。協賛にとどまらず、各社が自らの取り組みや参加建築の魅力を積極的に発信する動きも広がり、企業とともに建築祭の価値を社会へ届ける連携が深まった。



09

収支

01 収支一覧



収 入	
プログラム売上	¥ 21,941,632
助成金	¥ 15,950,000
法人協賛・寄付	¥ 20,200,000
クラウドファンディング	¥ 8,240,700
雑収入	¥ 491,763
合計	¥ 66,824,095

支 出	
イベント運営費	¥ 16,180,928
ガイド・スタッフ謝礼	¥ 15,983,096
広報費	¥ 16,625,569
イベント開発費	¥ 15,090,000
販売システム手数料	¥ 2,011,757
その他報酬・保険・手数料等	¥ 712,220
合計	¥ 66,603,570

収支差額	¥ 220,525
------	-----------

※関連事業含む

規模の拡大とプログラムの充実に伴い、関係各所との調整や、安全で円滑な見学環境を支える運営体制など、開催に必要な費用が増加。

一方、3年間の活動の蓄積とともに、東京建築祭の社会的意義に賛同する協賛企業が増え、クラウドファンディングでも多くの支援が集まるなど、開催を支える基盤も広がり、収支はわずかにプラスとなった。

今後も開かれた建築祭を継続・発展させていくため、安定した財源の確保と持続可能な運営基盤づくりが課題となる。



主催 | 東京建築祭実行委員会

ARTS COUNCIL TOKYO 
助成 | アーツカウンシル【芸術文化魅力創出助成】